

呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 第2回会議次第

【日 時】令和元年11月27日(水) 14時から

【場 所】呉市役所7階 753・754会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 市民アンケートの結果について
- (2) 対話型ニーズ調査の状況について（中間報告）
- (3) 交通社会実験について

3 閉 会

【配付資料】

- | | |
|------|-------------------------------|
| 資料1 | 呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 名簿 |
| 資料2 | 市民アンケート調査 結果概要 |
| 資料3 | 対話型ニーズ調査 中間報告 |
| 資料4 | 次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験 実施概要（報告） |
| 資料5 | スケジュール等（案） |
| 参考資料 | 呉駅周辺地域総合開発に関する提言書（概要版） |

呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 名簿

【委員】

(順不同, 敬称略)

氏名	所属・役職等
はとう えいじ 羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科教授
つかい まこと 塚井 誠人	広島大学大学院工学研究科准教授
かんだ ゆうすけ 神田 佑亮	呉工業高等専門学校教授
すずき かつむね 鈴木 克宗	一般財団法人道路新産業開発機構理事
いいた としまさ 飯田 稔督	J R 西日本広島支社副支社長
かりい やすひろ 仮井 康裕	広島電鉄株式会社取締役交通政策本部長
ひおか じゅんや 火岡 潤哉	一般社団法人広島県タクシー協会呉支部長
あさだ ひろし 浅田 宏	呉駅前西再開発ビル管理組合代表 (株式会社そごう・西武施設部 部付部長)
みと まさひろ 三戸 正宏	J A 呉代表理事組合長
むらかみ たけお 村上 威夫	国土交通省中国地方整備局建政部長
まつうら としゆき 松浦 利之	国土交通省中国地方整備局道路部長
おぎの ひろゆき 荻野 宏之	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長
かわい ともあき 河合 智明	独立行政法人都市再生機構西日本支社副支社長
きたやま てつ 來山 哲	広島県地域政策局地域振興部長
まとば ひろあき 的場 弘明	広島県土木建築局建築技術部長

市民アンケート調査 結果概要

1 調査概要

名称：駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するアンケート

(1) 郵送アンケート

- 【調査対象】 呉市に居住する満 18 歳以上の男女個人
- 【抽出方法】 層化無作為抽出法（住民基本台帳からの抽出）
- 【調査方法】 郵送配布・郵送回答
- 【調査期間】 令和元年 8 月 2 日～8 月 30 日
- 【配布数】 1,600 通
- 【回収数】 550 件（回答率 34.4%）

(2) 街頭アンケート

- 【調査対象】 呉駅利用者（鉄道利用者以外も含む駅構内利用者）
- 【抽出方法】 利用者は無作為的に声掛け
- 【調査方法】 改札外に回答ブースを設置しヒアリングを実施
- 【調査日時】 令和元年 10 月 11 日（金） 10:30～17:30
- 【回収数】 106 件

2 設問項目

資料 2－3 のとおり

3 集計・分析

(1) 集計方法

郵送アンケート及び街頭アンケートごとに集計・分析

(2) 分析の視点

- ・単純集計
- ・クロス分析

4 分析結果（概要）

（1）郵送アンケート（「資料2-1 郵送アンケート集計」を参照）

主な調査結果

① Q2 呉駅への来訪目的（複数回答）（資料2-1 P3）

- ・ 約47%が「日常の買い物」
- ・ 次いで、「観光・お出かけ」が約25%、「定期的な用事（通院・習い事など）」及び「呉駅から交通機関を使用」が約21%

② Q3 呉駅への来訪手段（複数回答）（資料2-1 P4・P5）

- ・ 平日・休日とも4割以上が「自家用車」での来訪。「鉄道」は2割弱、「路線バス」は3割弱
- ・ 平日の方が、「鉄道」「路線バス」を利用する人の割合が高い。一方、「自動車」は休日の方が高い

③ Q5 呉駅周辺の公共施設（資料2-1 P8～10）

- ・ 回答者の約7割が「一般車での送迎」を不便と評価

④ Q6 複合施設に必要な機能（複数回答）（資料2-1 P11～13）

- ・ 回答者の5割以上が「物販店舗」「飲食店舗」を選択
- ・ 次いで、「居住」機能が合計で約25%
- ・ そのほか「広場（憩い・イベント）」「クリニック・医療機能」「こどものための機能」が約2割
- ・ 特に若年層（10代～30代）は、「こどものための機能」の割合が約35%と高い傾向

⑤ Q7 備えるべき防災機能（複数回答）（資料2-1 P14）

- ・ 「災害時代替交通の発着機能」が最も高く約46%
- ・ 次いで、「一時避難場所」が約35%

⑥ Q8 次世代の移動手段（資料2-1 P15～20）

- ・ 次世代バスの導入について、「広島へのアクセス」として期待する（「大いに期待」「期待する」の合計。以下同様）と回答した割合が約7割。その他「地域間の生活交通」「観光地へのアクセス」「島しょ部の生活交通」など、いずれの項目も約6割が期待すると回答
- ・ 小型自動運転車について、「斜面地の移動手段」「被災地の移動手段」として期待する割合が約7割と高い傾向
- ・ 小型自動運転車のその他の活用例としては、「移動販売（コンビニ等）」「移動病院（遠隔医療等）」への期待度が約3割で最も高い

⑦ **Q9 自由記述**（資料2-1 P21）

- ・ 「そごう呉店跡地のにぎわいの再生（商業施設等の誘致）」を求める記述が最も多い
- ・ 「自家用車での送迎が不便」、「周辺施設にバスや徒歩で行きづらい、案内がわかりづらい」などの意見が多い

(2) 街頭アンケート（「資料2-2 街頭アンケート集計」を参照）

街頭アンケートの結果は、郵送アンケートと同様の傾向である。

街頭アンケートに見られた特徴的な結果は、以下のとおり。

① **Q3 呉駅への来訪手段**（資料2-2 P4・P5）

- ・ 「鉄道」「路線バス」利用者が多く、郵送アンケートと比べて「自家用車」が少ない。駅利用者は、普段から「鉄道」「路線バス」の利用が多いことが伺える

② **Q6 複合施設に必要な機能**（資料2-2 P11）

- ・ 「物販店舗」「飲食店舗」「居住」「広場（憩い・イベント）」「クリニック・医療機能」への希望が多い点は、郵送アンケートと同様
- ・ 特に、市外・県外回答者は、「飲食店舗」を希望する回答が約70%で最も多く、次いで「物販店舗」「宿泊機能」が約39%と高い

③ **Q7 呉駅に備えるべき防災機能**（資料2-2 P12）

- ・ 「一時避難場所」「災害時代替交通の発着機能」が多い点は、郵送アンケートと同様
- ・ 「防災・災害情報発信機能」が約38%、「備蓄機能（備蓄品の保管）」が約32%で、郵送アンケートに比べてそれぞれ約21%、約10%高い

【郵送版】駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するアンケート集計

【SA】 シングルアンサー n(回答数)は設問ごとの回答数

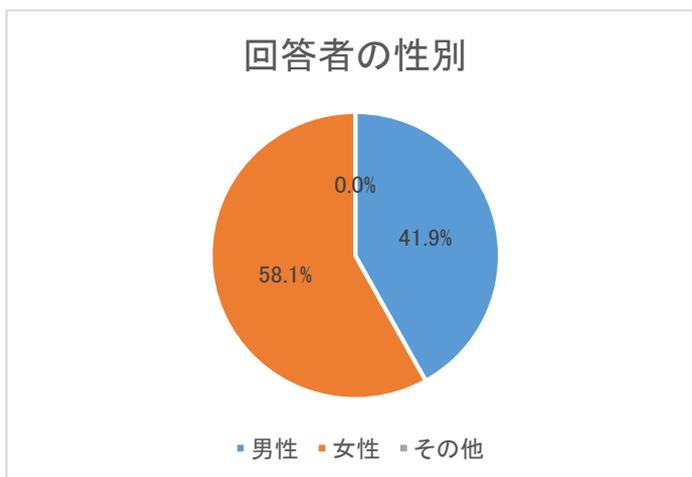
【MA】 マルチアンサー (複数回答) n=550 (総回答数) として割合を算出

■回答数

550 通 (内、居住地紐づけ 345 通)

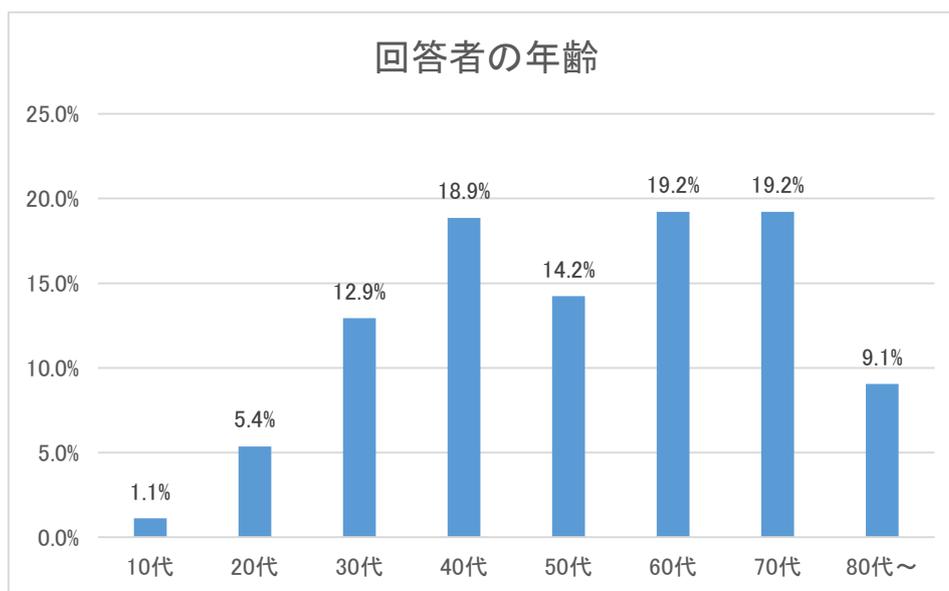
■性別 (n=463) 【SA】

男性 194 / 女性 269



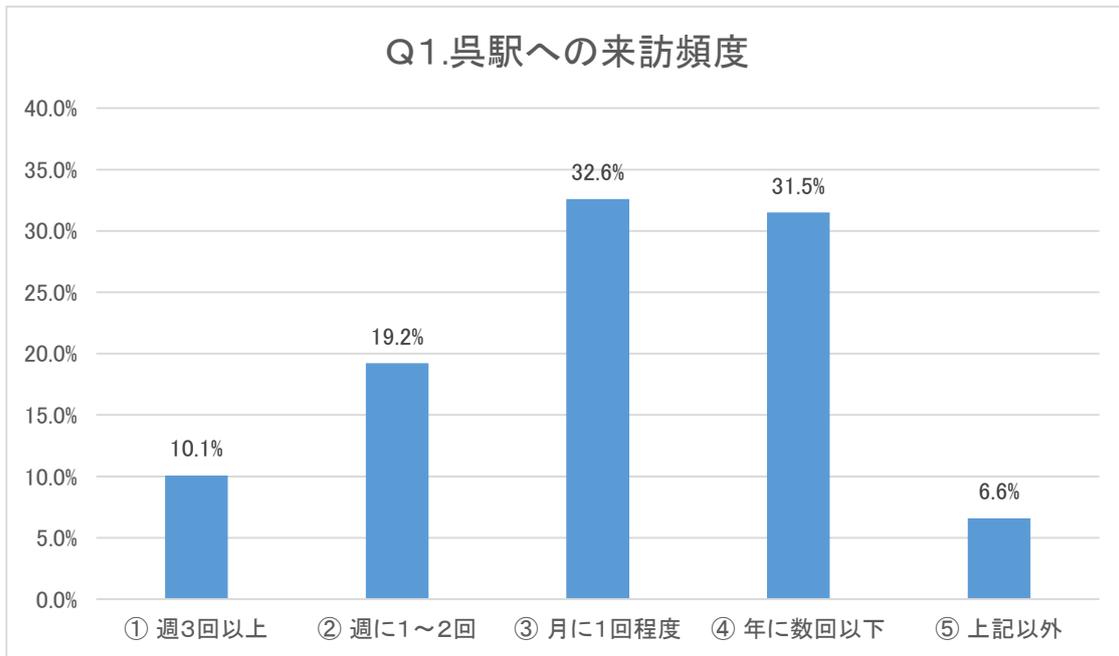
■年齢 (n=541) 【SA】

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
6	29	70	102	77	104	104	49



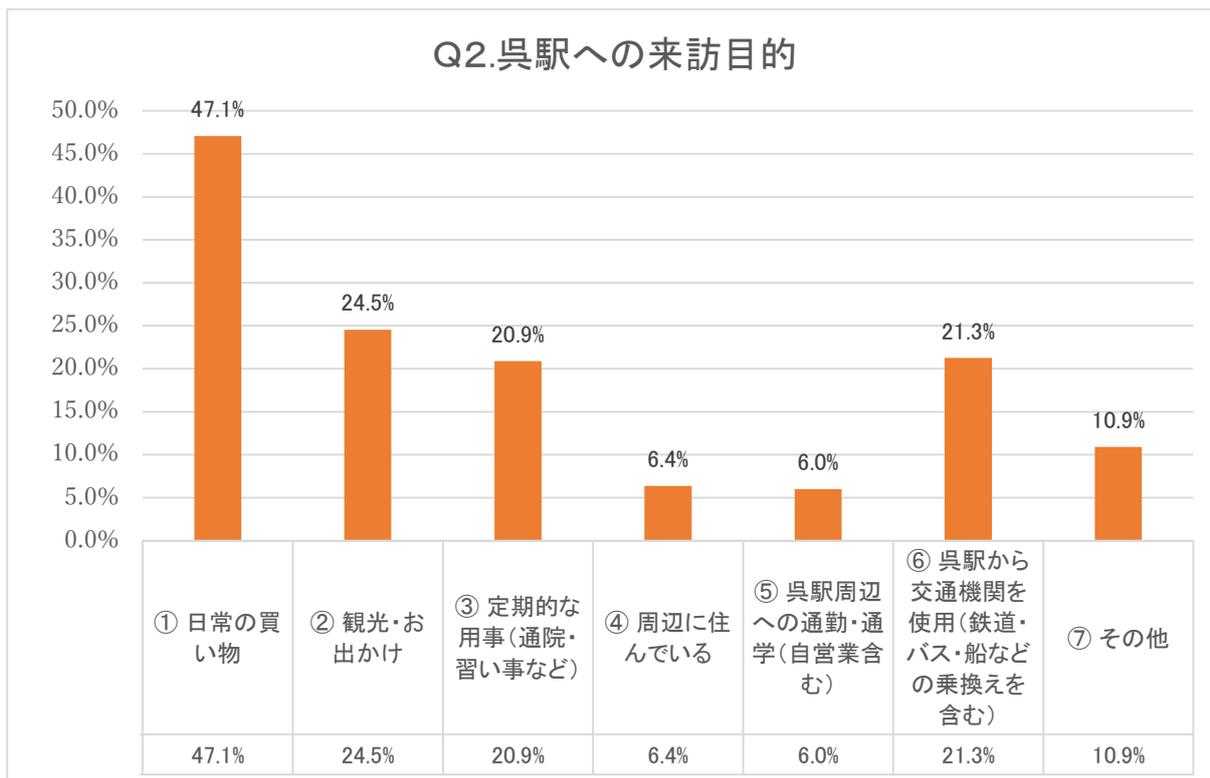
Q1. 呉駅への来訪頻度（最も近い1つに○）（n=546）【SA】

① 週3回以上	② 週に1~2回	③ 月に1回程度	④ 年に数回以下	⑤ 上記以外
55	105	178	172	36



Q2. 呉駅への来訪目的（当てはまるすべてに○）（n=550）【MA】

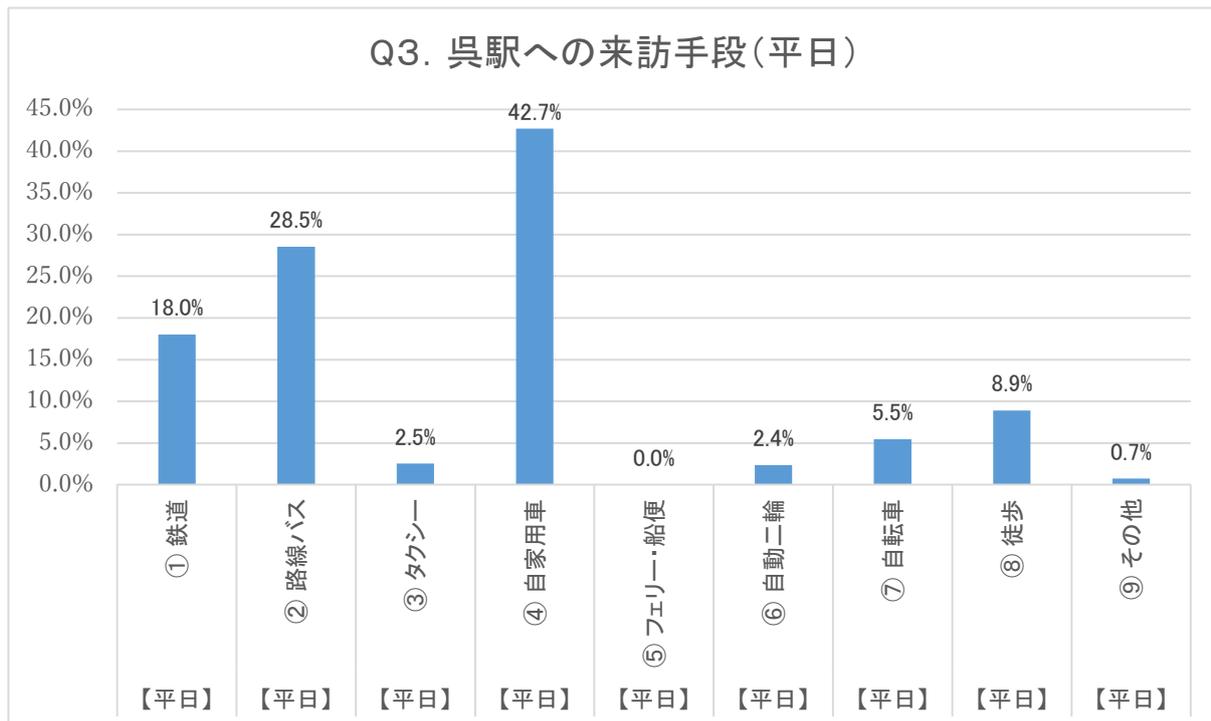
① 日常の 買い物	② 観光・ お出かけ	③ 定期的 な用事 (通院・習い事 など)	④ 周辺に 住んでいる	⑤ 呉駅周 辺への通 勤・通学 (自営業含む)	⑥ 呉駅か ら交通機関 を使用 (鉄道・バス・ 船などの乗換 えを含む)	⑦ その他
259	135	115	35	33	117	60



Q3. 呉駅への来訪手段（平日・休日両方を回答）（当てはまる全てに○）【MA】

■平日（n=550）

① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車	⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩	⑨ その他
99	157	14	235	0	13	30	49	4

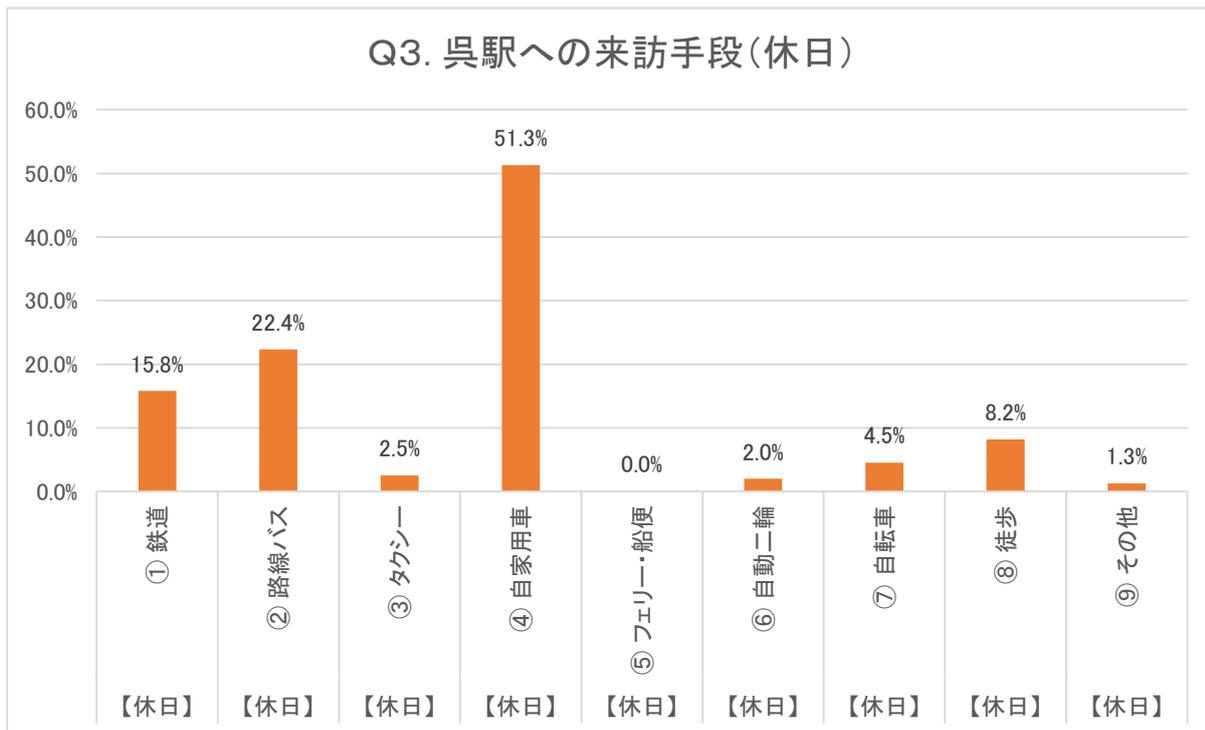


⇒居住地ごとに呉駅への来訪手段を分析したところ

島しょ部に居住の方の「62.9%が自家用車」「40.0%が路線バス」を利用している。

■休日 (n=550)

① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車	⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩	⑨ その他
87	123	14	282	0	11	25	45	7



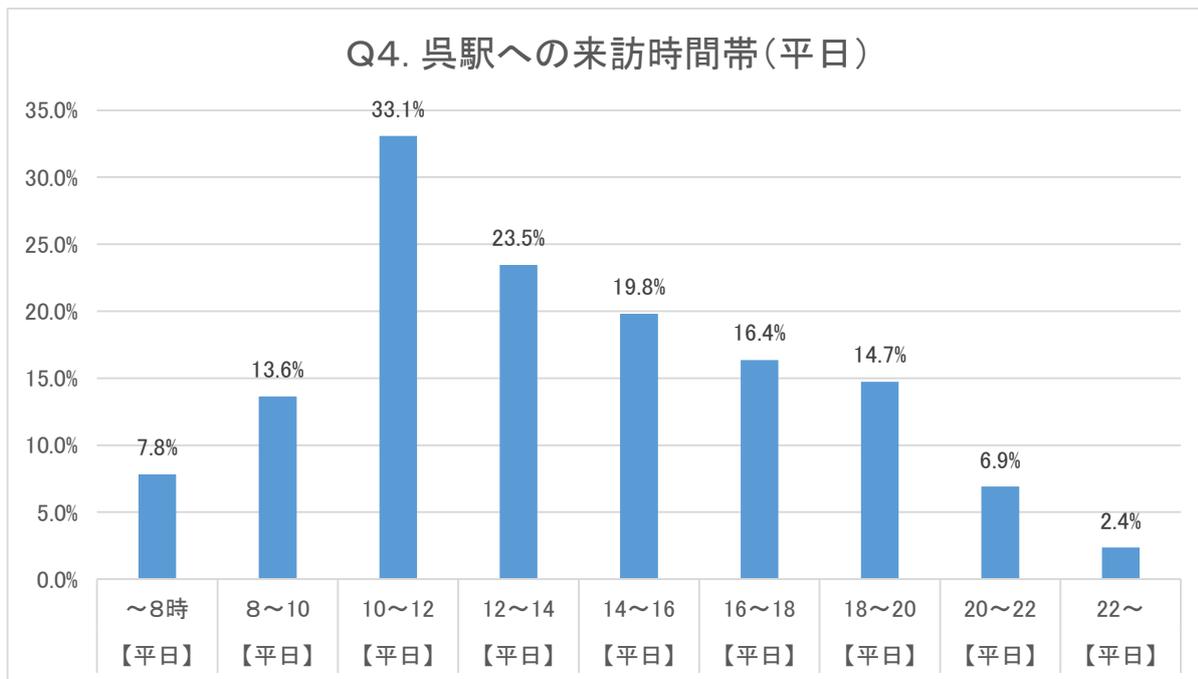
⇒平日同様に居住地ごとに呉駅への来訪手段を分析したところ

島しょ部に居住の方の「74.3%が自家用車」「28.6%が路線バス」を利用している。

Q4. 呉駅への来訪時間帯（平日・休日両方を回答）（すべてに○）【MA】

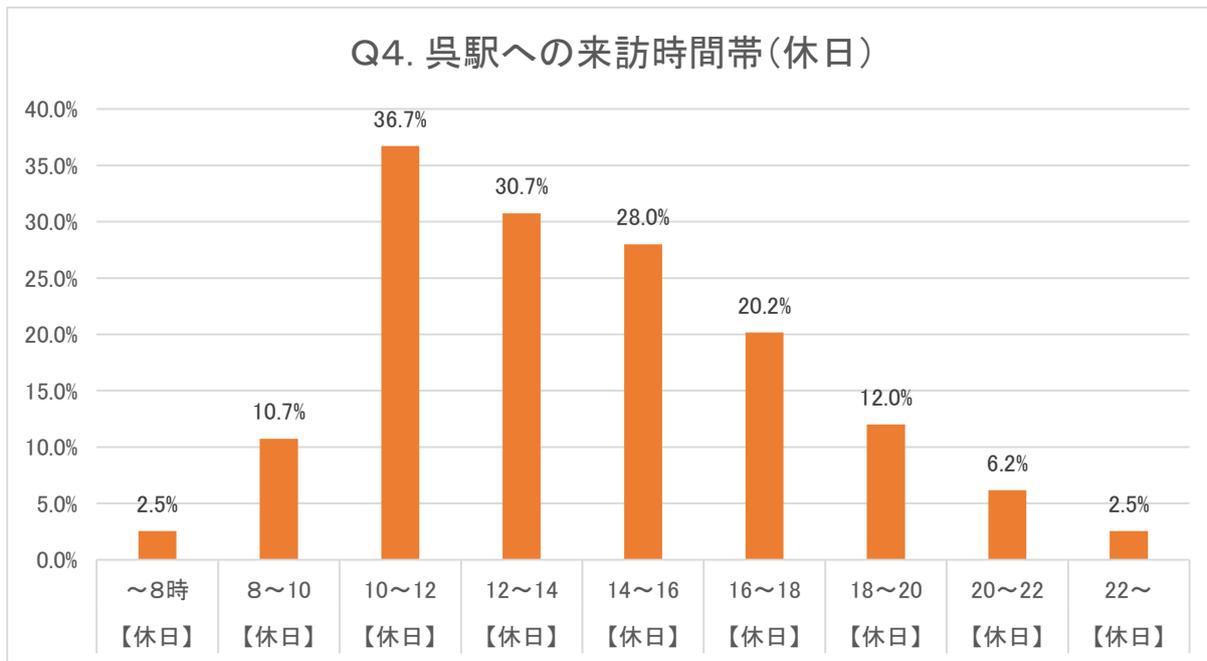
■平日（n=550）

～8時	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～
43	75	182	129	109	90	81	38	13



■休日 (n=550)

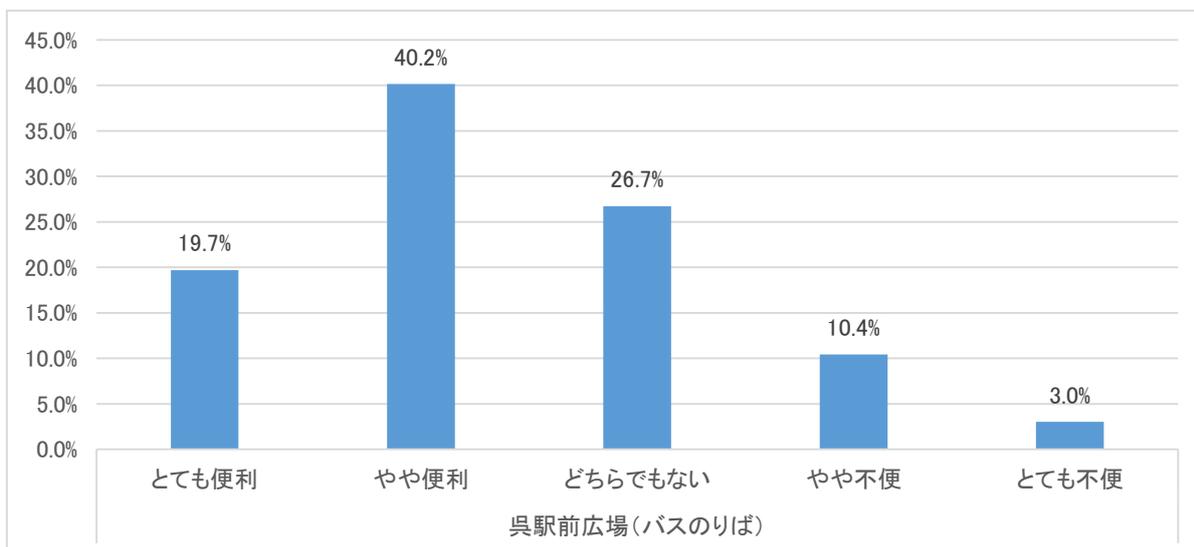
～8時	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～
14	59	202	169	154	111	66	34	14



Q5. 現在の呉駅周辺の公共施設について（施設ごとに1つずつ○）【SA】

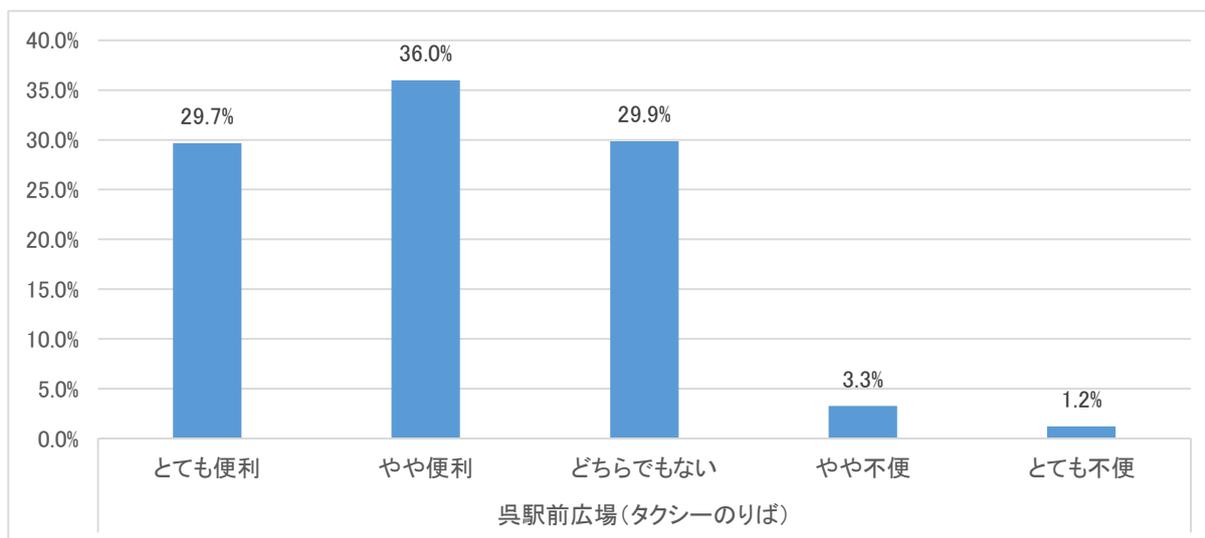
・呉駅前広場（バスのりば）（n=498）

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
98	200	133	52	15



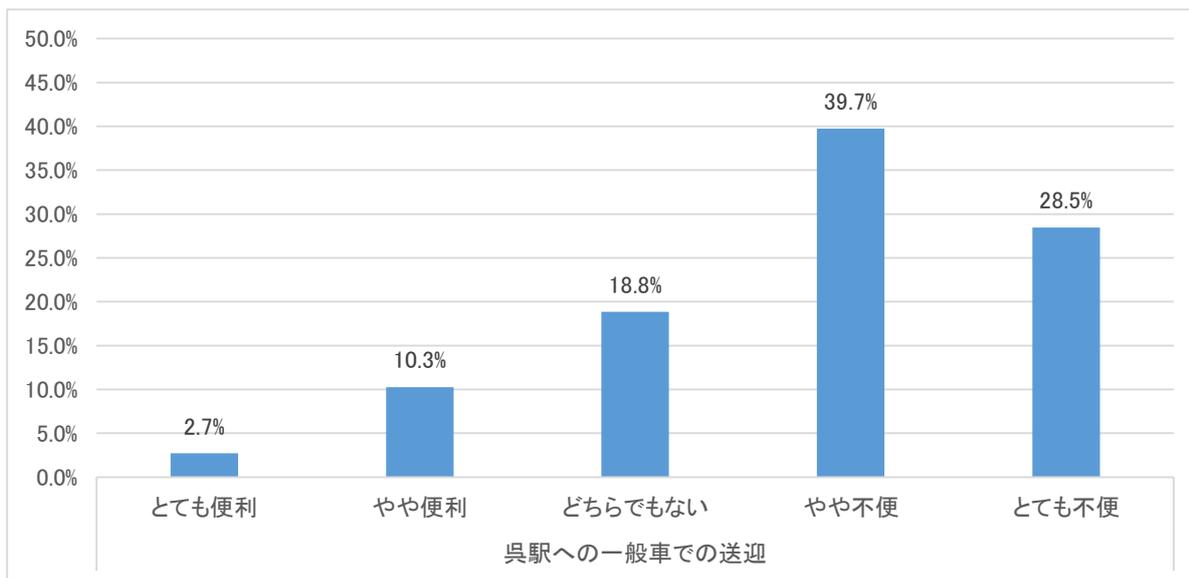
・呉駅前広場（タクシーのりば）（n=489）

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
145	176	146	16	6



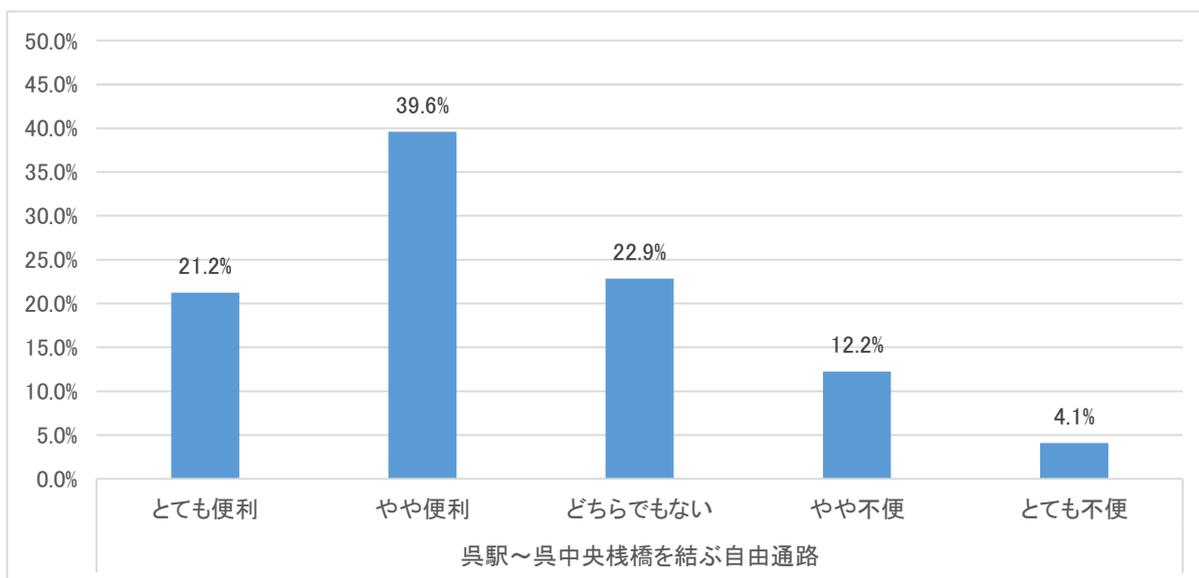
・呉駅への一般車での送迎 (n=478)

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
13	49	90	190	136



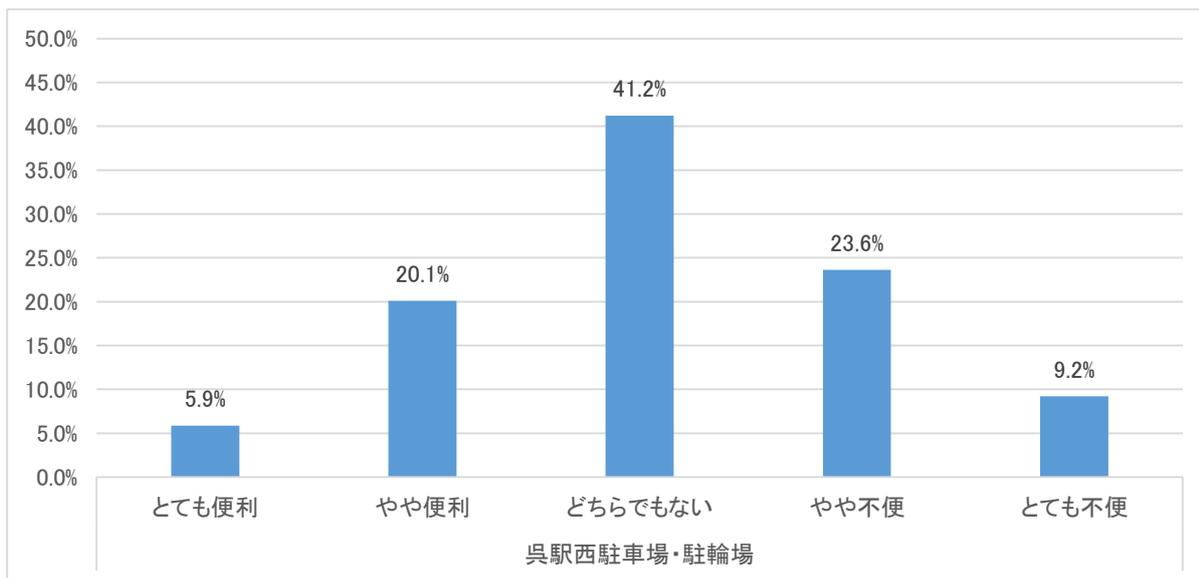
・呉駅～呉中央棧橋を結ぶ自由通路 (n=490)

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
104	194	112	60	20



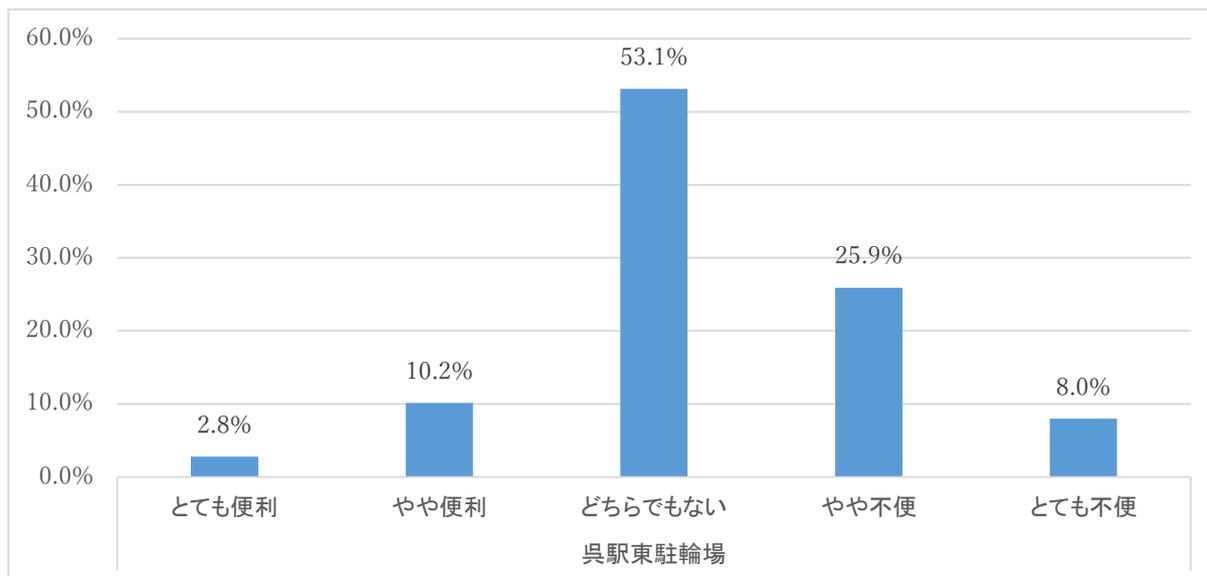
・呉駅西駐車場・駐輪場 (n=478)

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
28	96	197	113	44



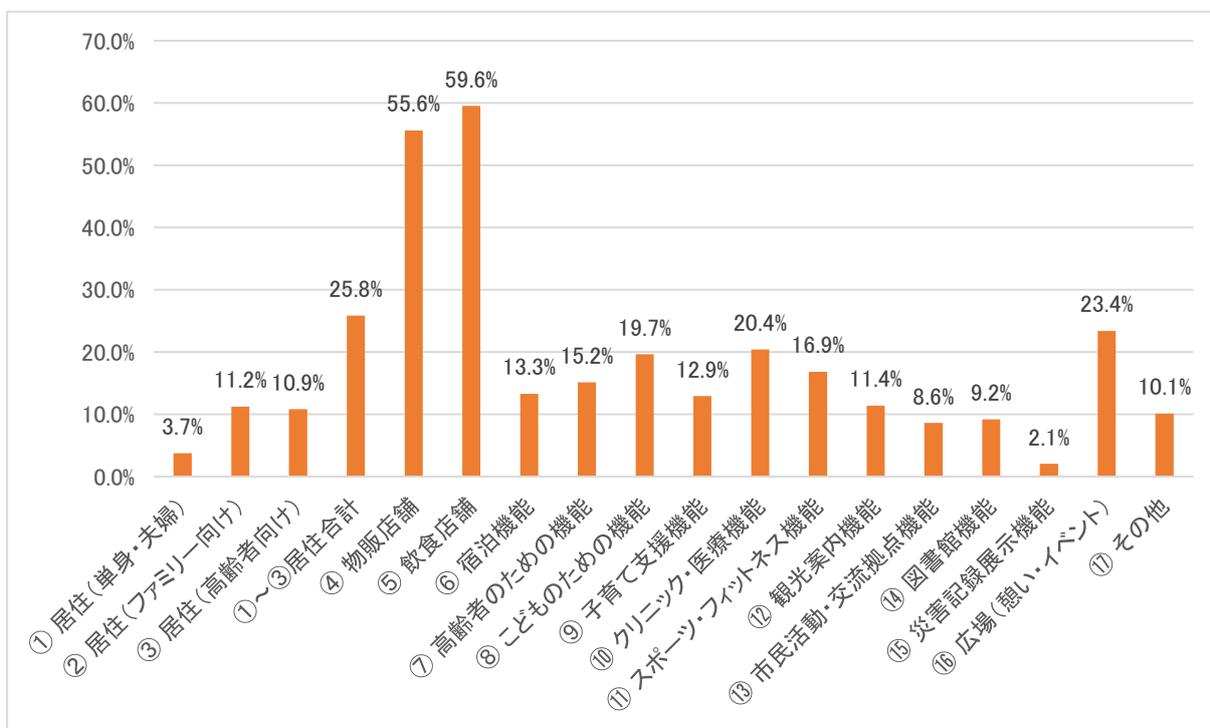
・呉駅東駐輪場 (n=463)

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
13	47	246	120	37



Q 6. そごう跡地に整備する複合施設に必要なと思う機能（3つまでに○）
 (n=550) 【MA】

① 居住 (単身・夫婦)	② 居住 (ファミリー向け)	③ 居住 (高齢者向け)	④ 物販 店舗	⑤ 飲食 店舗	⑥ 宿泊 機能	⑦ 高齢 者のた めの機 能	⑧ こど ものた めの機 能	⑨ 子育 て支援 機能
20	60	58	297	318	71	81	105	69
⑩ クリ ニック・ 医療機 能	⑪ スポ ーツ・フ ィットネ ス機能	⑫ 観光 案内機 能	⑬ 市民 活動・交 流拠点 機能	⑭ 図書 館機能	⑮ 災害 記録展 示機能	⑯ 広場 (憩い・イ ベント)	⑰ その他	
109	90	61	46	49	11	125	54	

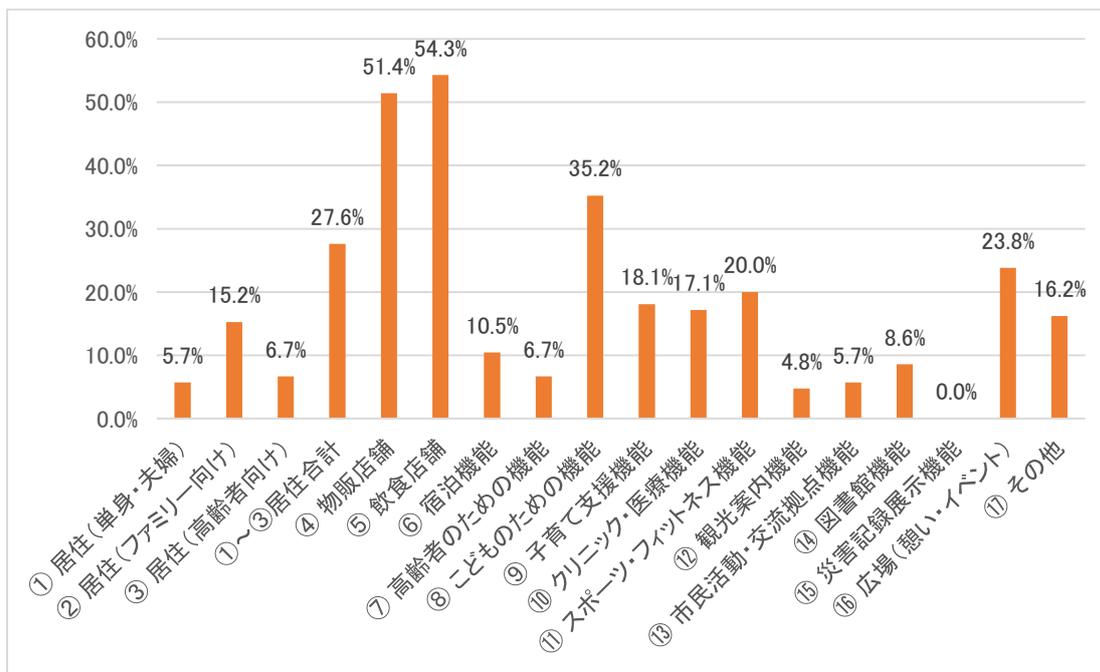


⇒次ページ以降に世代別の必要機能の回答を抜粋した。

【Q6.世代別にみる回答の傾向】

回答者の年齢を「10～30代」「40・50代」「60代以上」の3つに区分し、Q6の回答結果を分析した。

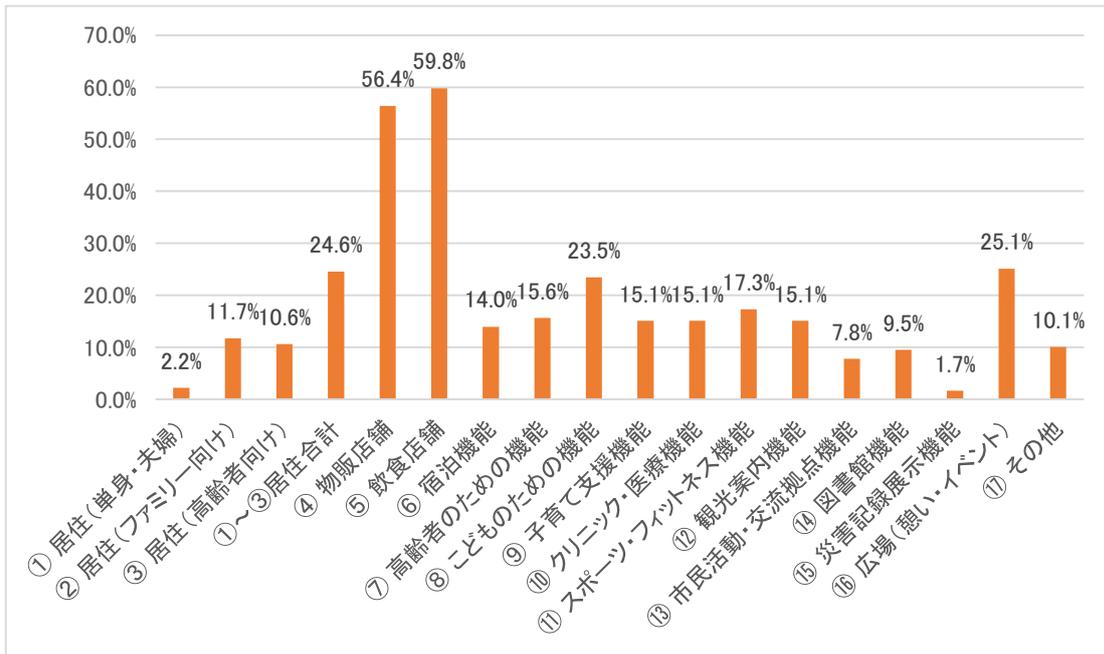
・10代～30代が考える複合施設に必要なと思う機能（n=105）



⇒物販・飲食は全体回答に比べるとやや割合は下がるものの、依然として人気が高い用途である。この中で特に若年層からの希望が目立つのが「こどものための機能」で、全体比+15%である。このほか「居住(ファミリー向け)」「子育て支援」「スポーツ・フィットネス」「広場」がやや増加している。

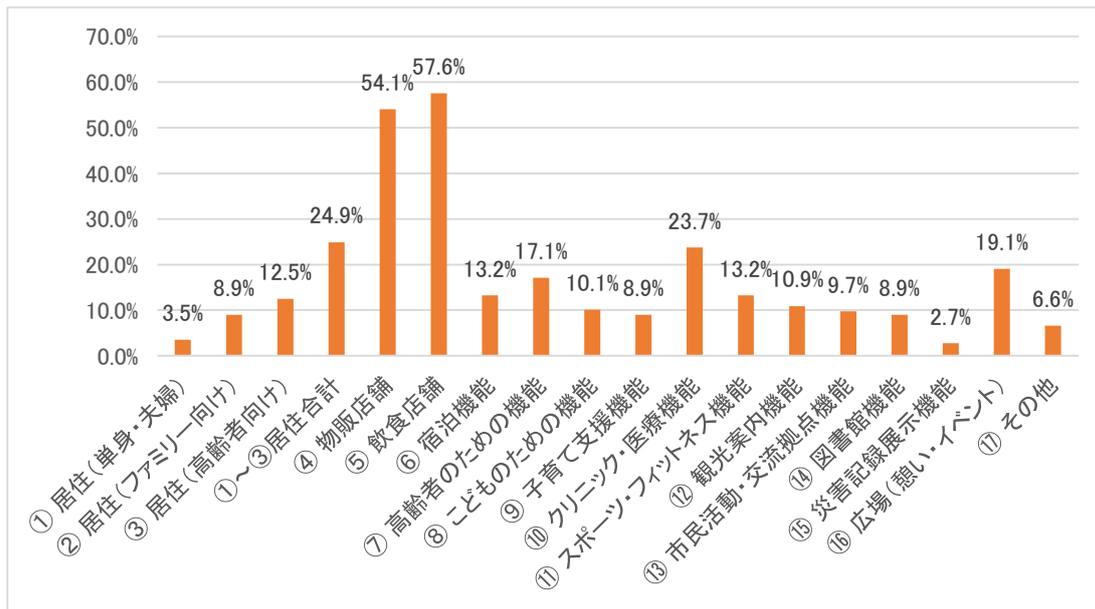
(次ページに続く)

・40代・50代が考える複合施設に必要なと思う機能（n=179）



⇒物販・飲食は全体回答とほぼ同率で要望の多い機能である。全体に比べると「こどものための機能」「観光案内機能」などはやや多い傾向にあるが目立った差ではない。

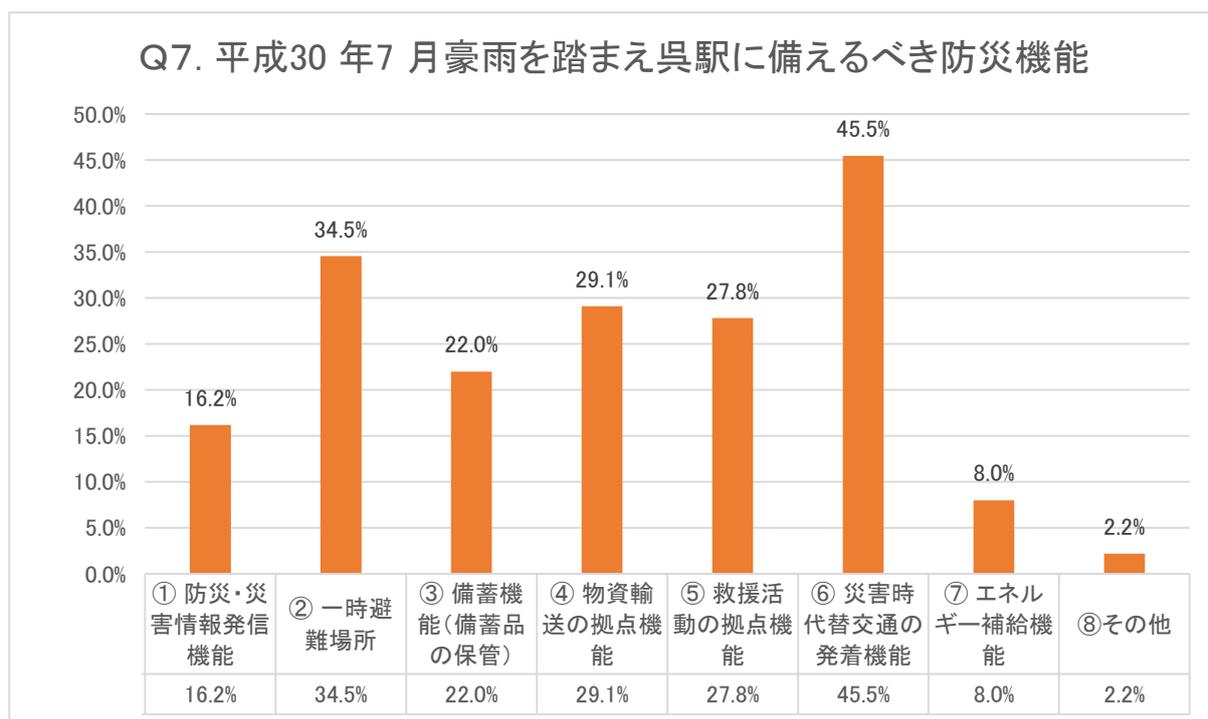
・60代以上が考える複合施設に必要なと思う機能（n=257）



⇒物販・飲食は全体回答に比べるとやや割合は下がるものの、依然として人気が高い用途である。「居住(高齢者向け)」「高齢者のための機能」「クリニック・医療機能」はそれぞれやや増加しているものの、目立った増加ではなく60代以上からの支持が目立つ機能は存在しない結果となった。

Q7. (2つまでに○) 平成30年7月豪雨を踏まえ呉駅に備えるべき防災機能
(n=550) 【MA】

① 防災・災害情報発信機能	② 一時避難場所	③ 備蓄機能(備蓄品の保管)	④ 物資輸送の拠点機能
89	190	121	160
⑤ 救援活動の拠点機能	⑥ 災害時代替交通の発着機能	⑦ エネルギー補給機能	⑧その他
153	250	44	12

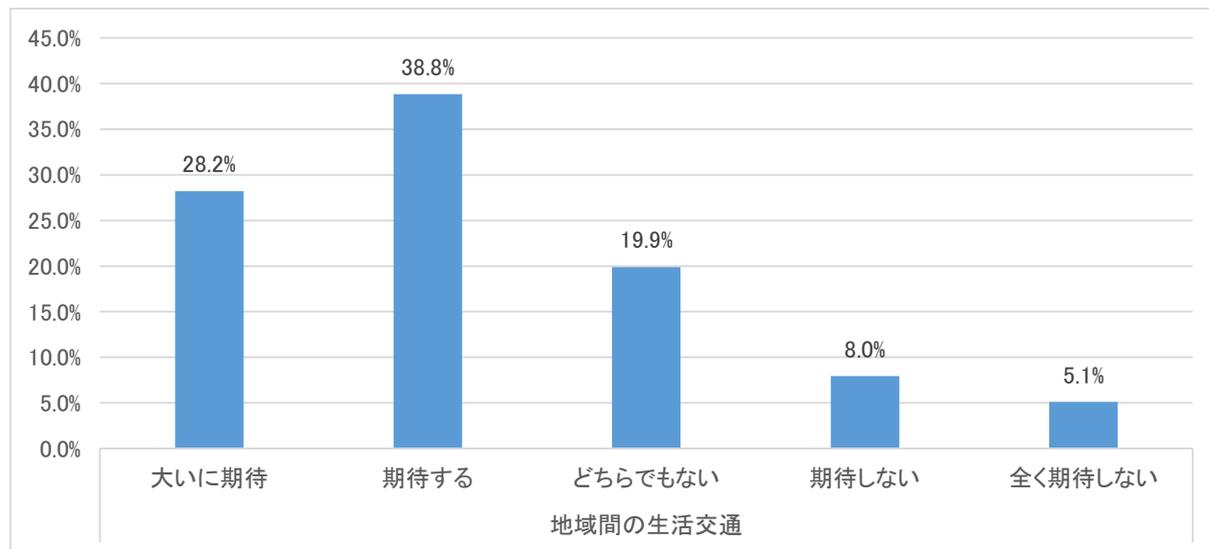


Q8. 自動運転車など次世代の移動手段に期待すること【SA】

(1) 次世代バス導入への期待度をお答えください。(種別ごとに1つずつ○)

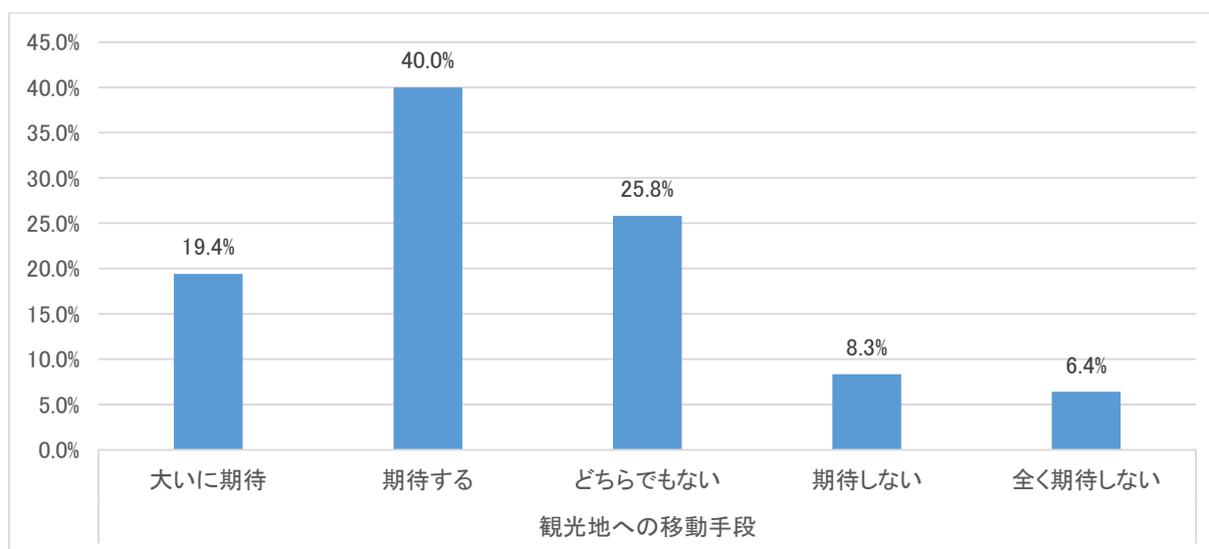
・地域間の生活交通 (n=528)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
149	205	105	42	27



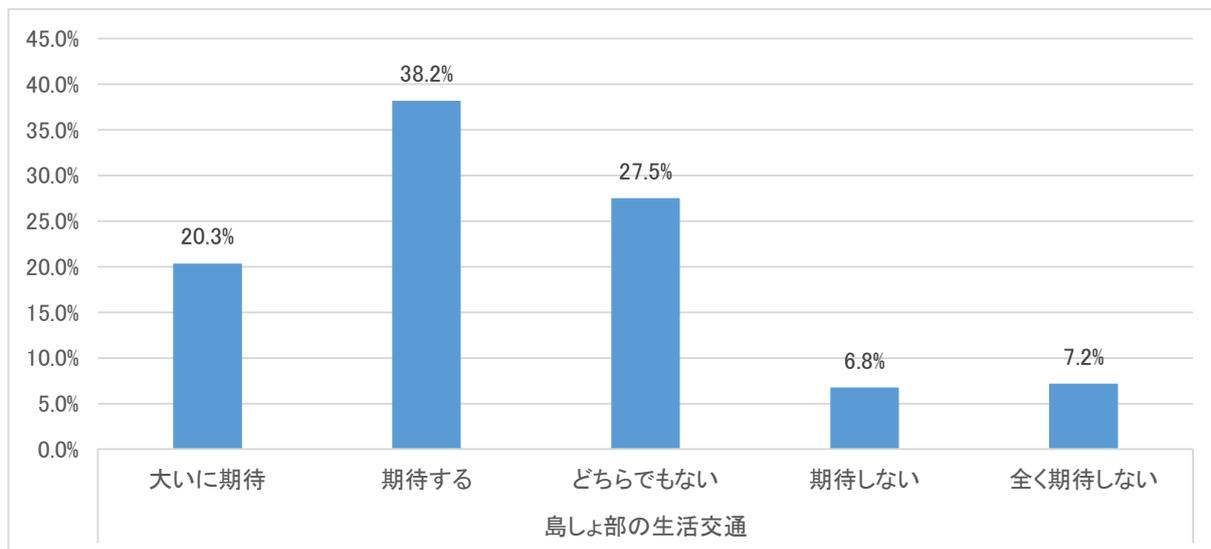
・観光地への移動手段 (n=515)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
100	206	133	43	33



・島しょ部の生活交通 (n=516)

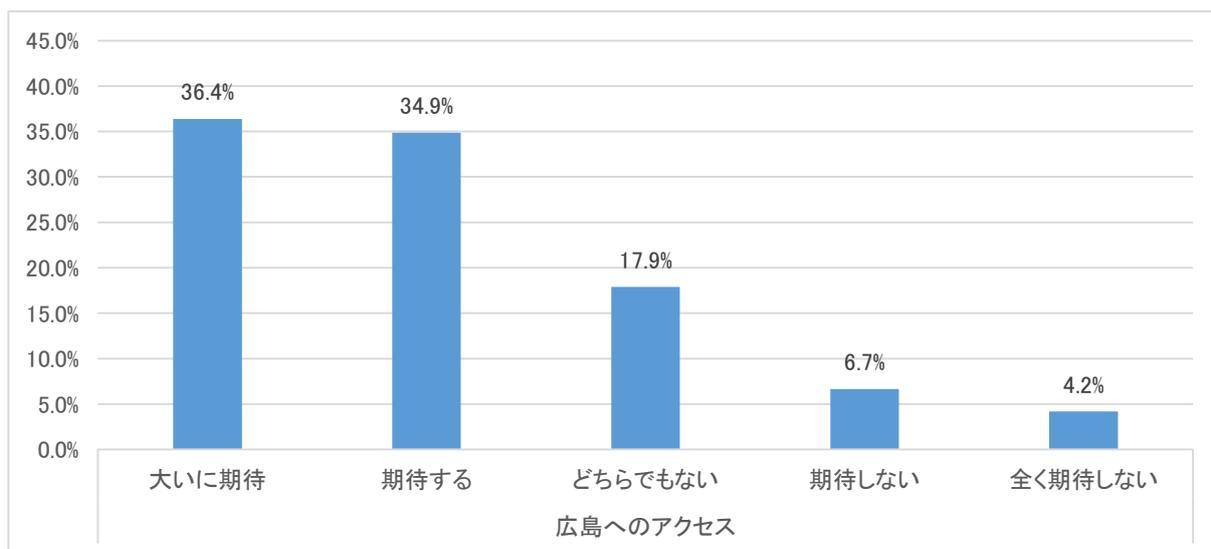
大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
105	197	142	35	37



⇒居住地ごとに分析したところ、島しょ部に居住の方の「48.4%が大いに期待」「35.5%が期待する」と回答している。

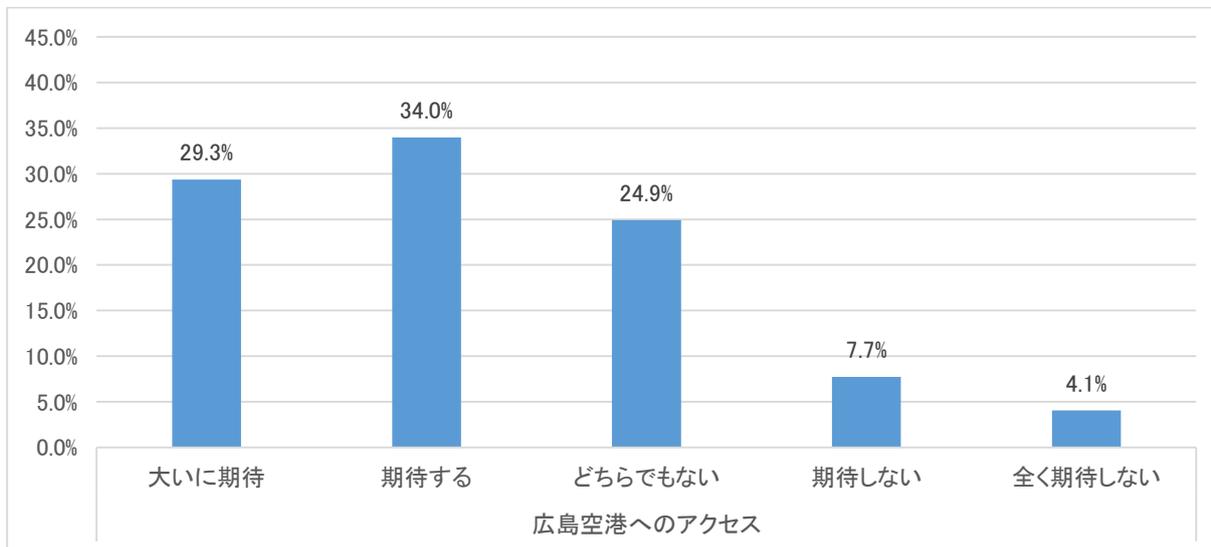
・広島へのアクセス (n=525)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
191	183	94	35	22



・広島空港へのアクセス (n=518)

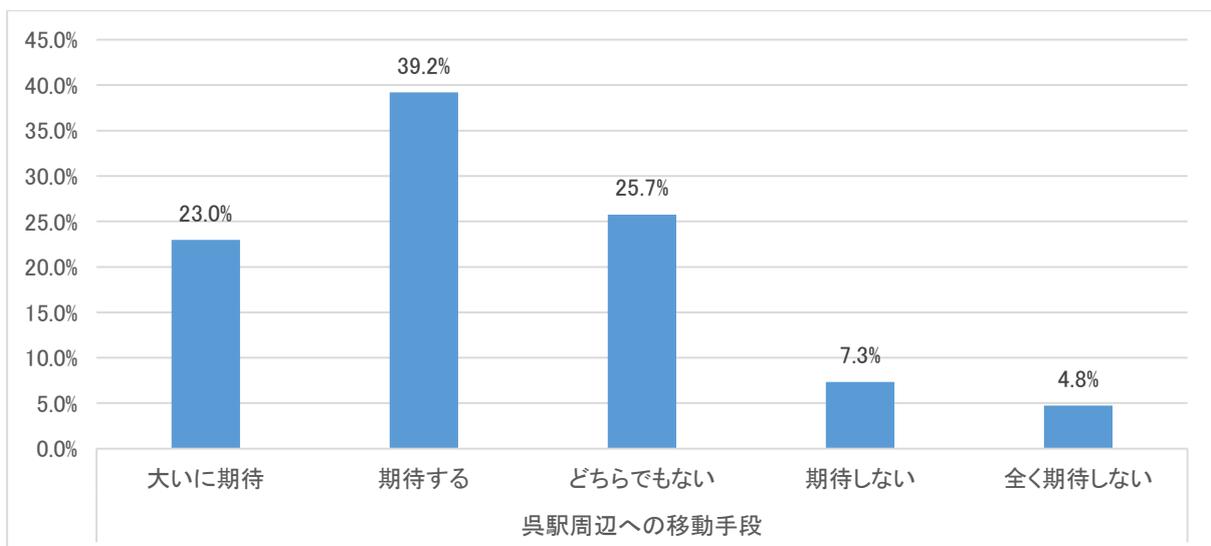
大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
152	176	129	40	21



(2) 次世代の小型自動運転車導入への期待度をお答えください。(種別ごとに1つずつ○)

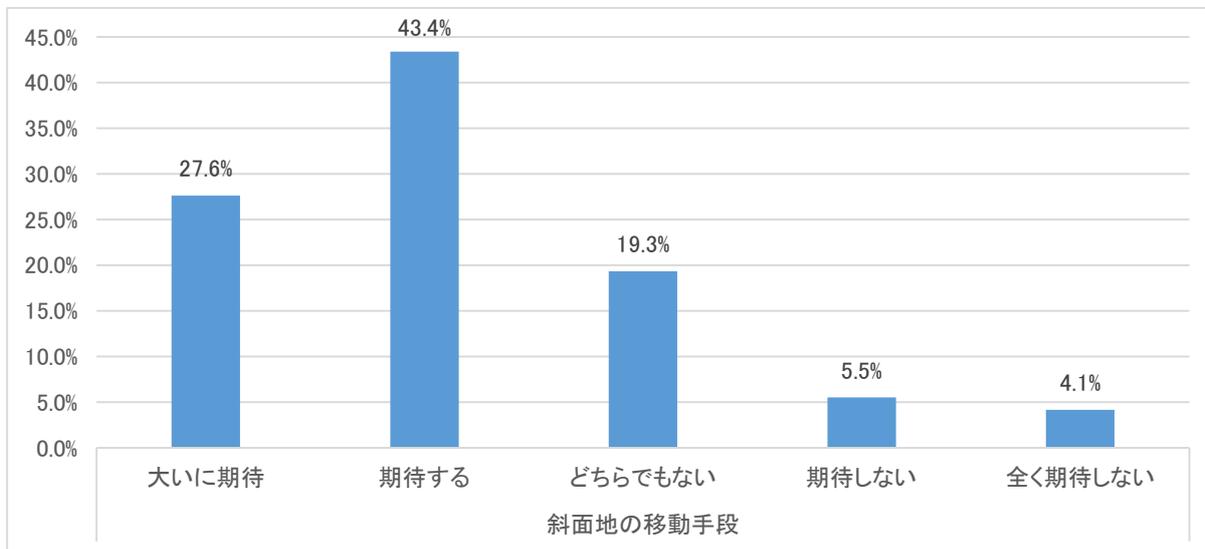
・呉駅周辺への移動手段 (n=505)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
116	198	130	37	24



・斜面地の移動手段 (n=507)

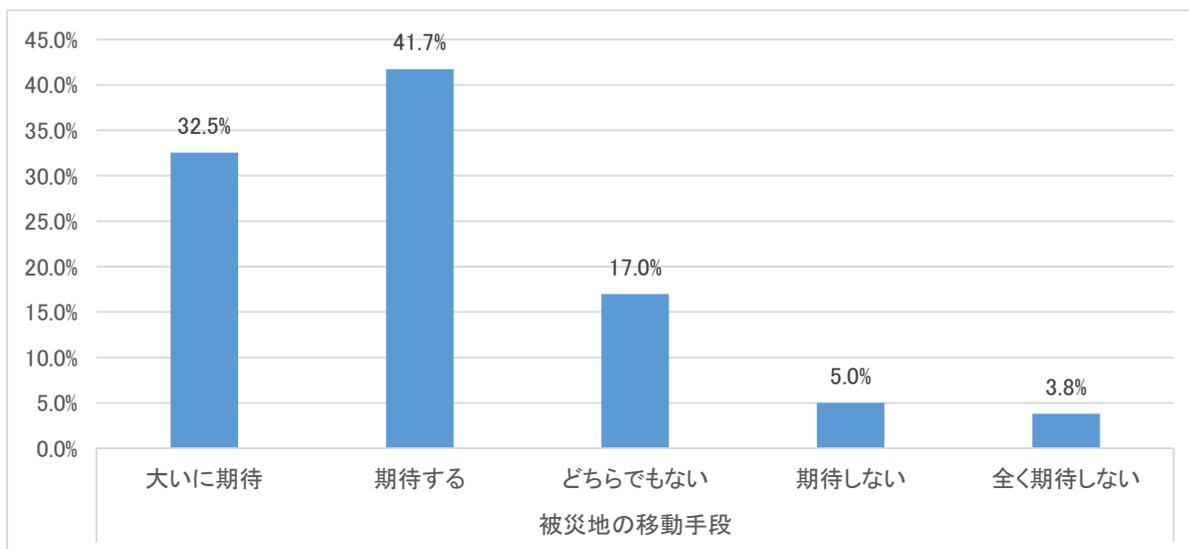
大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
140	220	98	28	21



⇒居住地ごとに分析したところ、斜面地居住者の「46.2%が大いに期待」している。

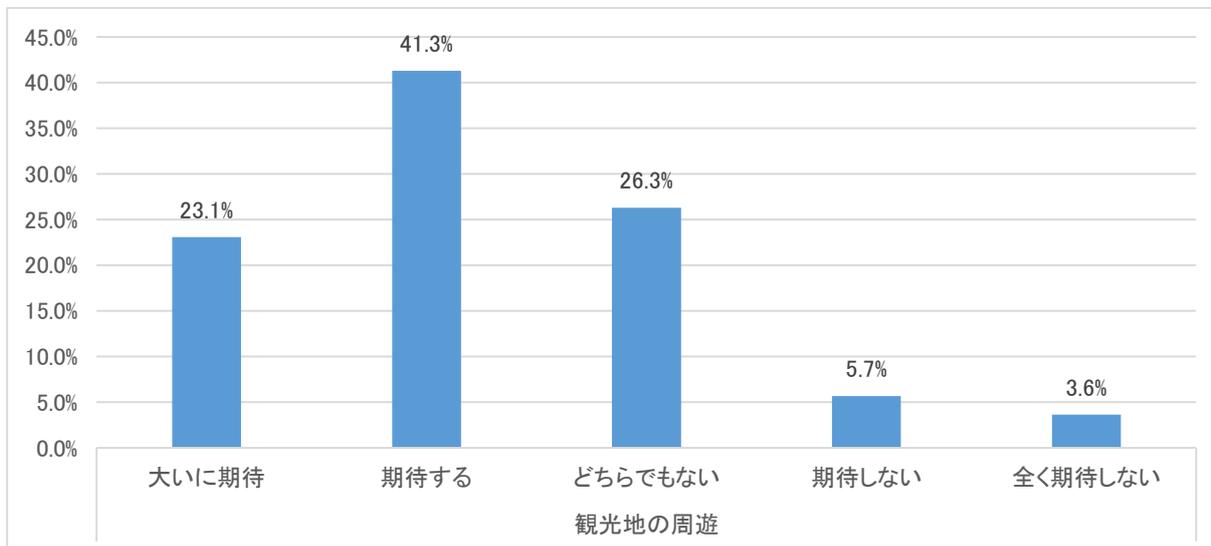
・被災地の移動手段 (n=501)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
163	209	85	25	19



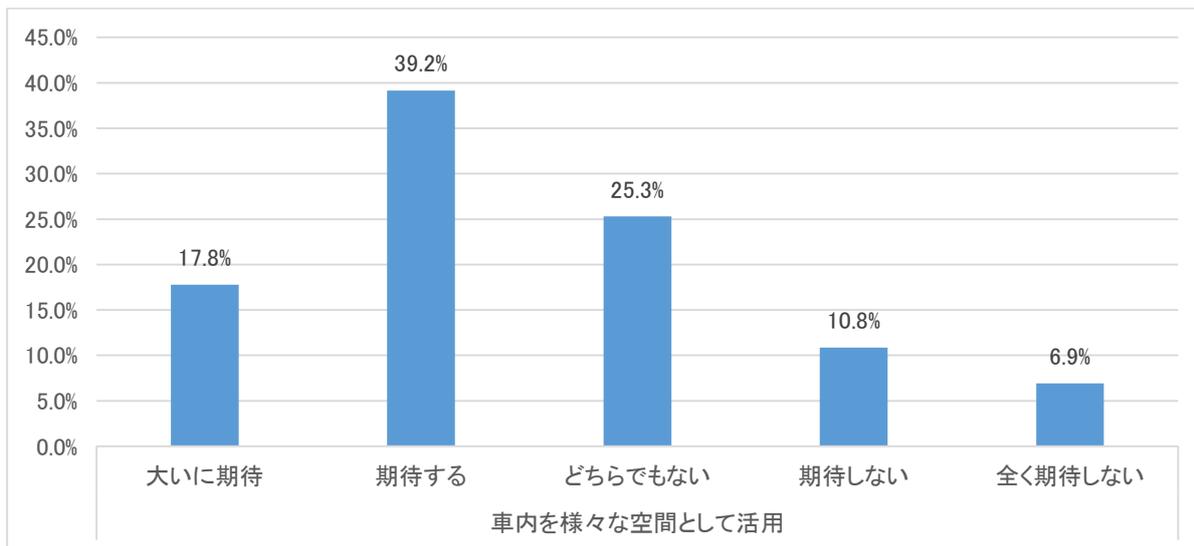
・観光地の周遊 (n=494)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
114	204	130	28	18



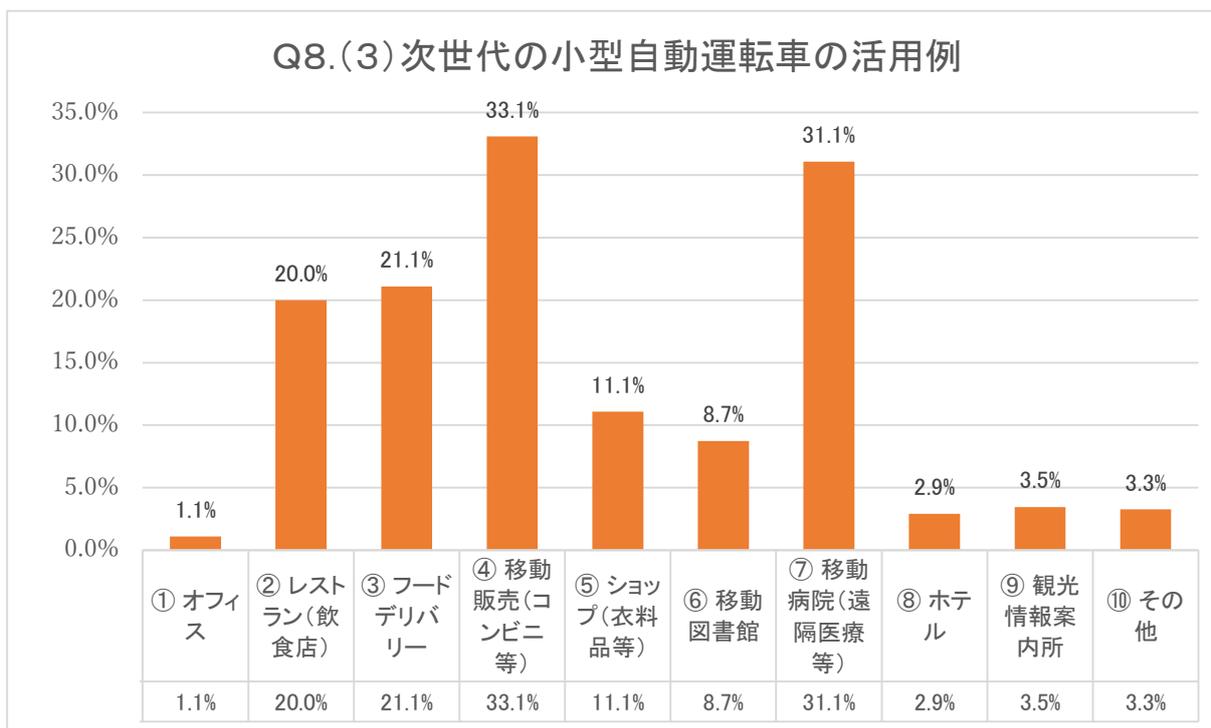
・車内を様々な空間として活用 (n=332)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
59	130	84	36	23



(3) 次世代の小型自動運転車の活用例 (2つまでに○) (n=550) 【MA】

① オフィス	② レストラン (飲食店)	③ フードデリバリー	④ 移動販売 (コンビニ等)	⑤ ショップ (衣料品等)
6	110	116	182	61
⑥ 移動図書館	⑦ 移動病院 (遠隔医療等)	⑧ ホテル	⑨ 観光情報案内所	⑩ その他
48	171	16	19	18



■自由記述欄

Q 1 の来訪頻度別に主な記述内容を以下に整理した。

週に3回以上（55人中、自由記述回答者33人）

- ・そごう跡地への言及
- ・送迎環境や交通渋滞の不便さ
- ・若い世代（移住者層）に魅力的な街
- ・県内にない大型商業施設、アミューズメント施設など家族で楽しめる施設

週に1～2回（105人中、自由記述回答者63人）

- ・駅前の寂しさ、そごう跡地への言及
- ・自家用車・タクシーでの駅利用の不便さ
- ・駅周辺の安く便利な駐車場の確保
- ・ショッピングモール・デパート等商業施設の誘致

月に1回程度（178人中、自由記述回答者90人）

- ・駅前の寂しさ、そごう跡地への言及
- ・周辺施設にバスや徒歩で行きづらい、案内がわかりづらい
- ・観光・イベントに使えるもの

年に数回以下（172人中、自由記述回答者79人）

- ・そごう跡地への言及
- ・駅前の活気のなさ
- ・自家用車・タクシー等での駅利用の不便さ
- ・人のあつまる施設（空間）、滞在できる施設

上記以外（36人中、自由記述回答者17人）

- ・何度も行きたくなる場所、観光する場所が欲しい

【街頭版】 駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するアンケート集計

【SA】 シングルアンサー n(回答数)は設問ごとの回答数

【MA】 マルチアンサー (複数回答) n=106 (総回答数) として割合を算出

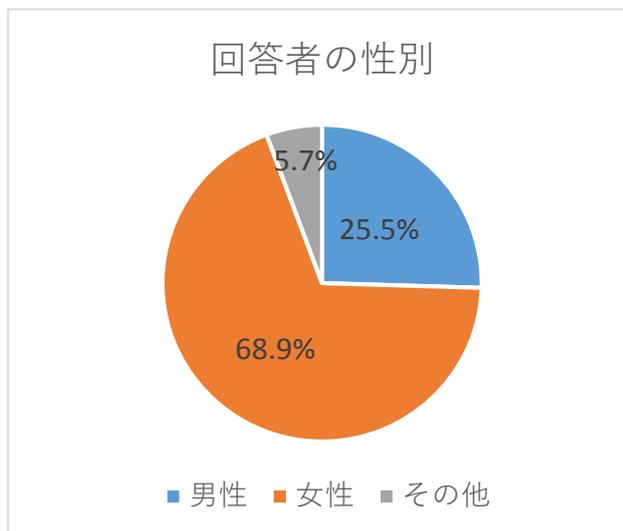
■回答数

106 件

■性別 (n=100) 【SA】

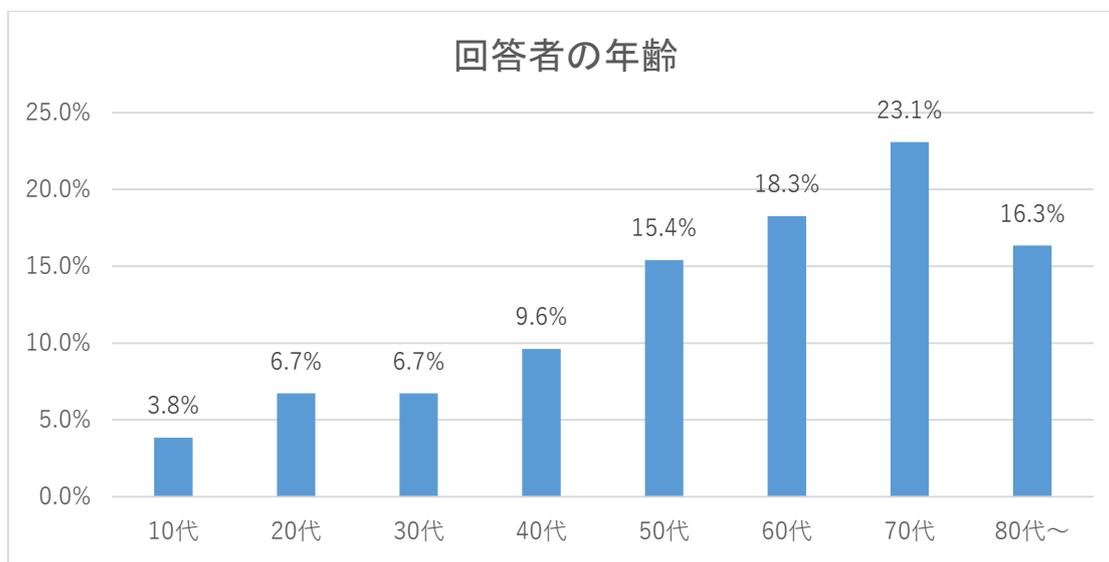
男性 27 / 女性 73

(未回答 6)



■年齢 (n=104) 【SA】

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
4	7	7	10	16	19	24	17



■居住地 (n=106) 【SA】

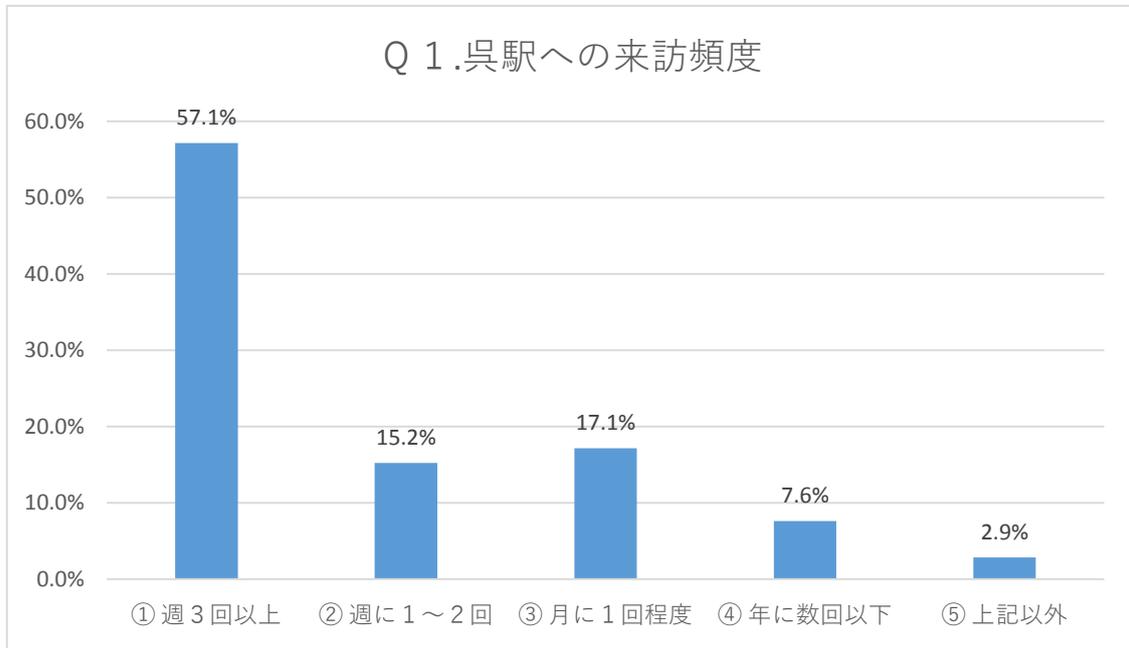
呉市内 83

県内市外 13 (広島市、東広島市、江田島市、坂町、海田町)

県外 10 (東京都、千葉県、神奈川県、兵庫県)

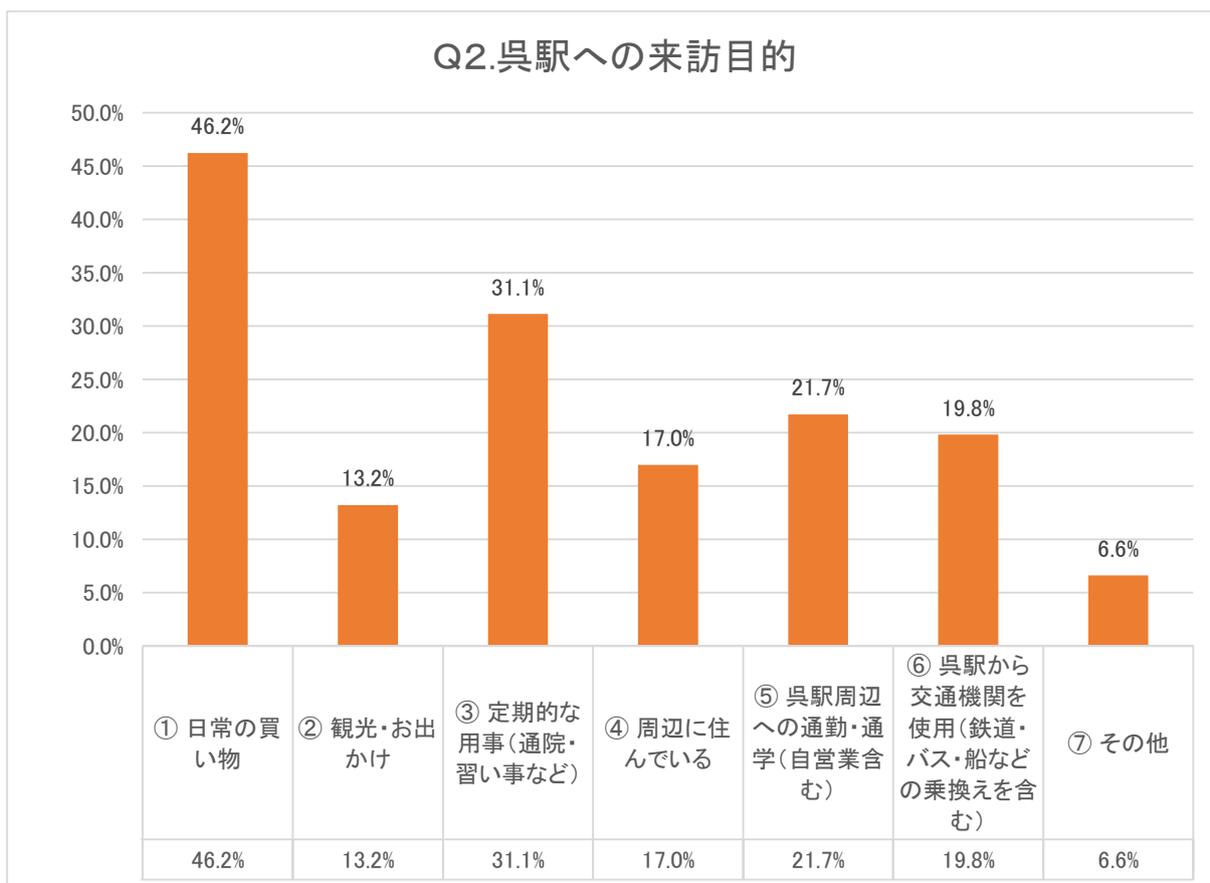
Q 1. 呉駅への来訪頻度（最も近い1つに○）（n=105）【SA】

① 週3回以上	② 週に1~2回	③ 月に1回程度	④ 年に数回以下	⑤ 上記以外
60	16	18	8	3



Q2. 呉駅への来訪目的（当てはまるすべてに○）（n=106）【MA】

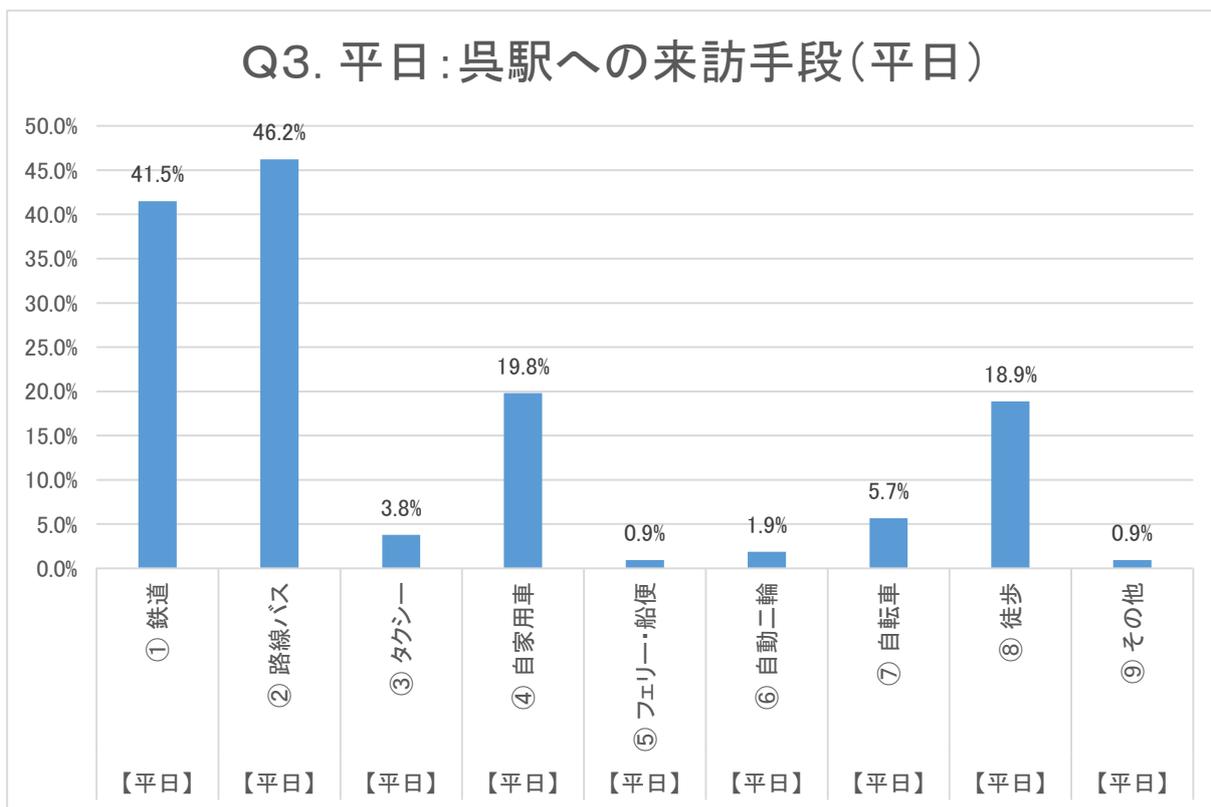
① 日常の 買い物	② 観光・ お出かけ	③ 定期的 な用事 (通院・習い事 など)	④ 周辺に 住んでいる	⑤ 呉駅周 辺への通 勤・通学 (自営業含む)	⑥ 呉駅か ら交通機関 を使用 (鉄道・バス・ 船などの乗換 えを含む)	⑦ その他
49	14	33	18	23	21	7



Q 3. 呉駅への来訪手段（平日・休日両方を回答）（1つずつに○）【MA】

■平日（n=106）

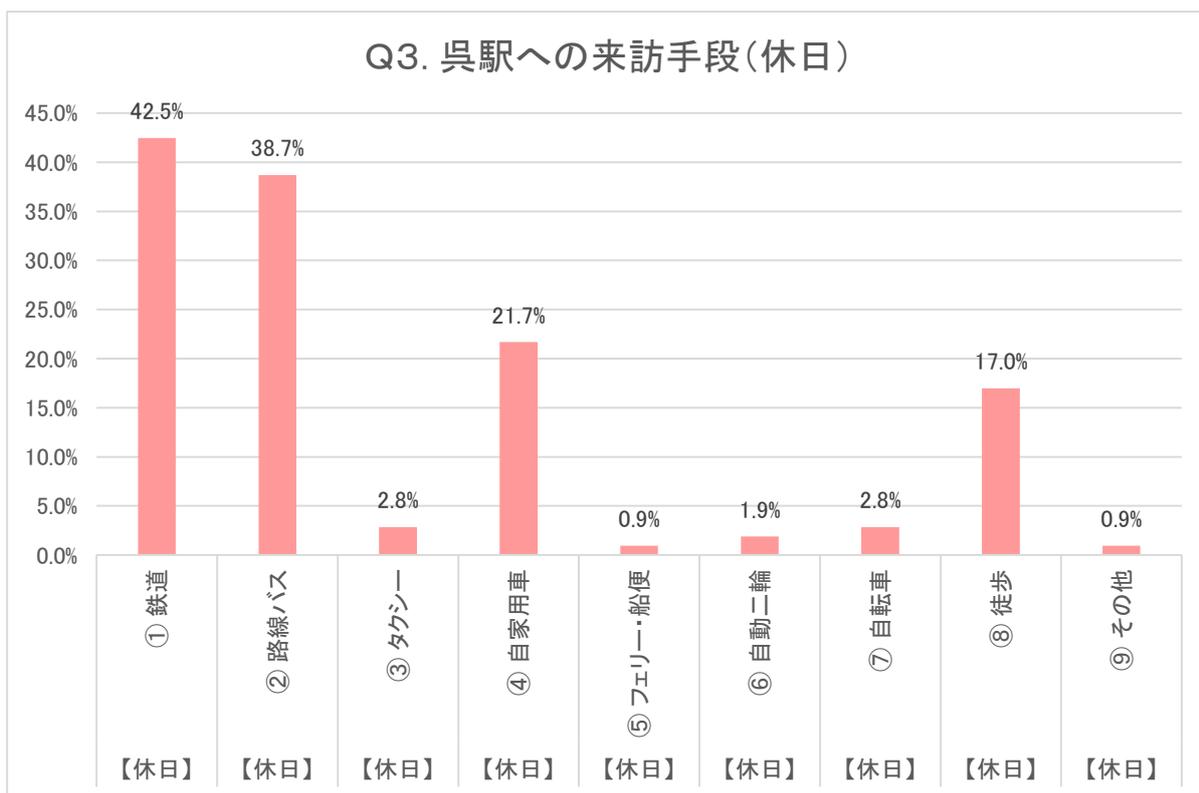
① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車	⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩	⑨ その他
44	49	4	21	1	2	6	20	1



⇒郵送アンケートの結果と比較して「①鉄道」「②路線バス」の割合が大きく、「④自家用車」の割合が小さい結果となった。

■休日 (n=106)

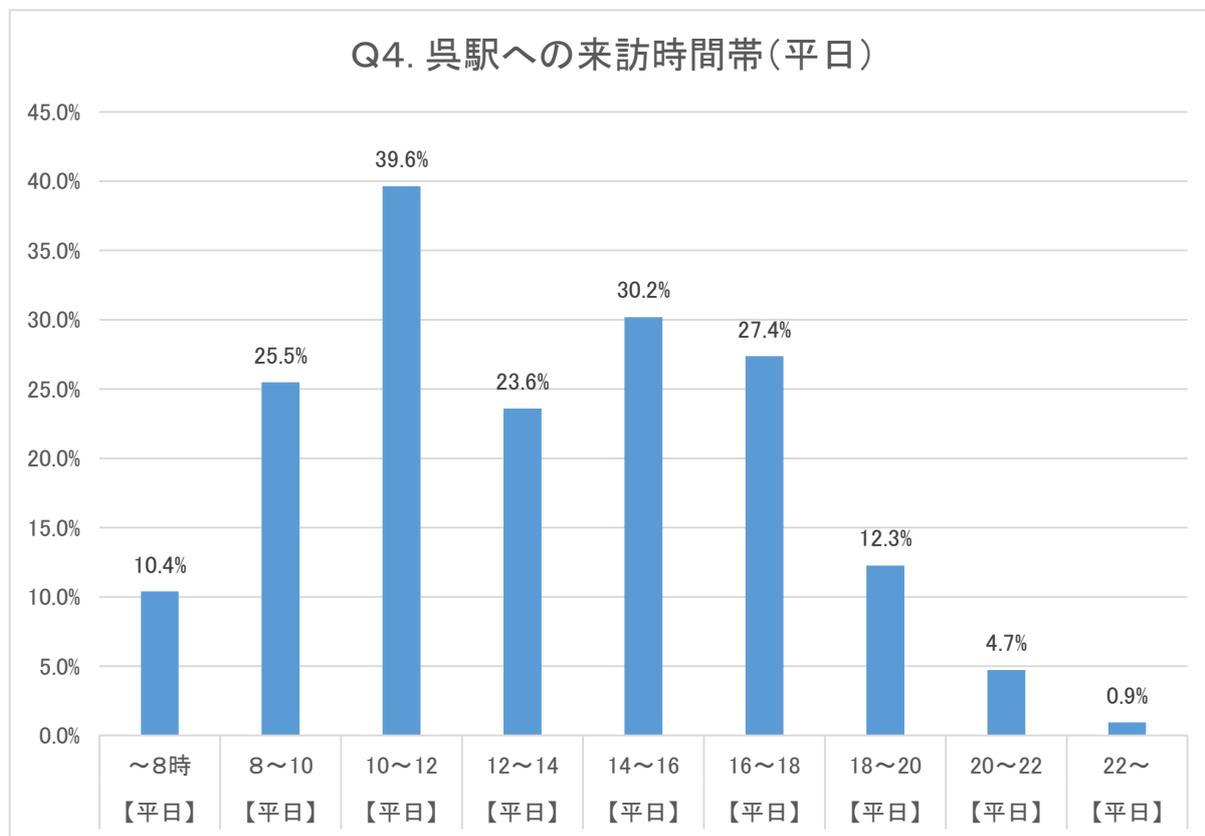
① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車	⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩	⑨ その他
45	41	3	23	1	2	3	18	1



Q4. 呉駅への来訪時間帯（平日・休日両方を回答）（すべてに○）【MA】

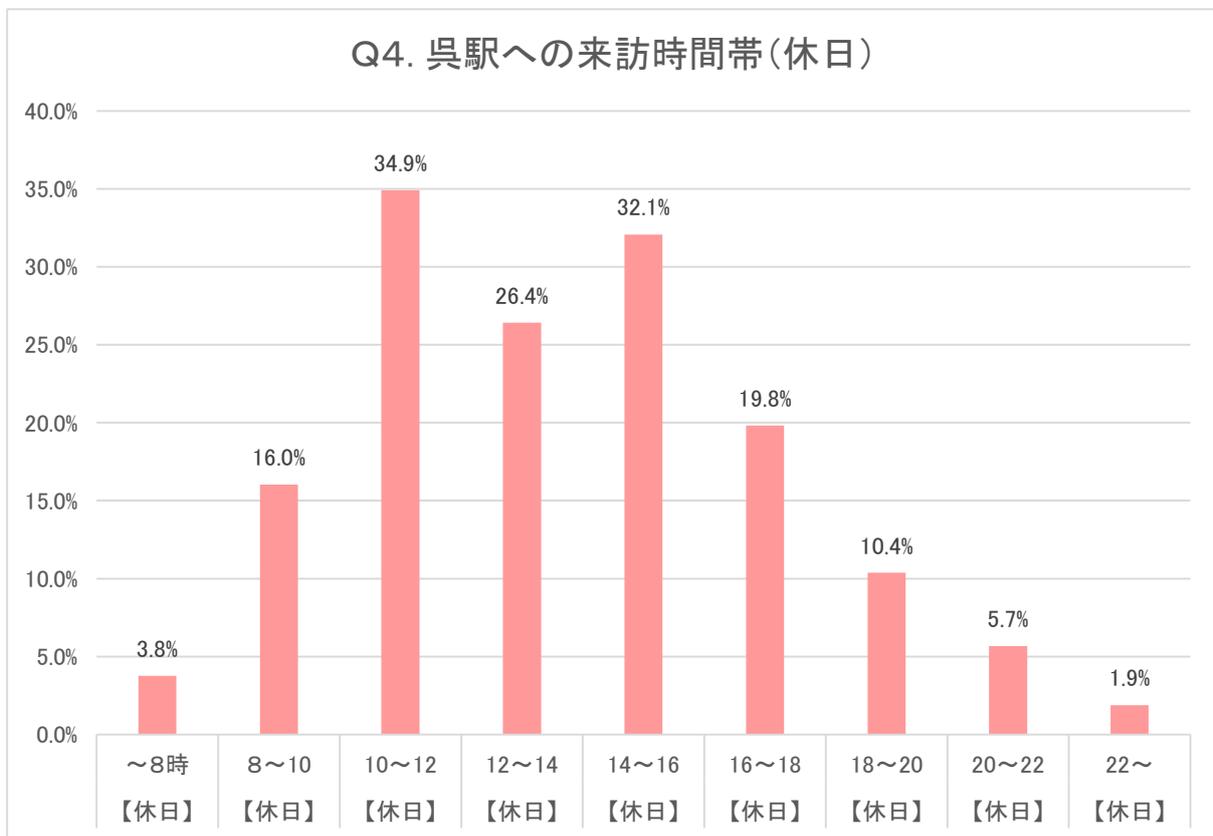
■平日（n=106）

～8時	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～
11	27	42	25	32	29	13	5	1



■休日 (n=106)

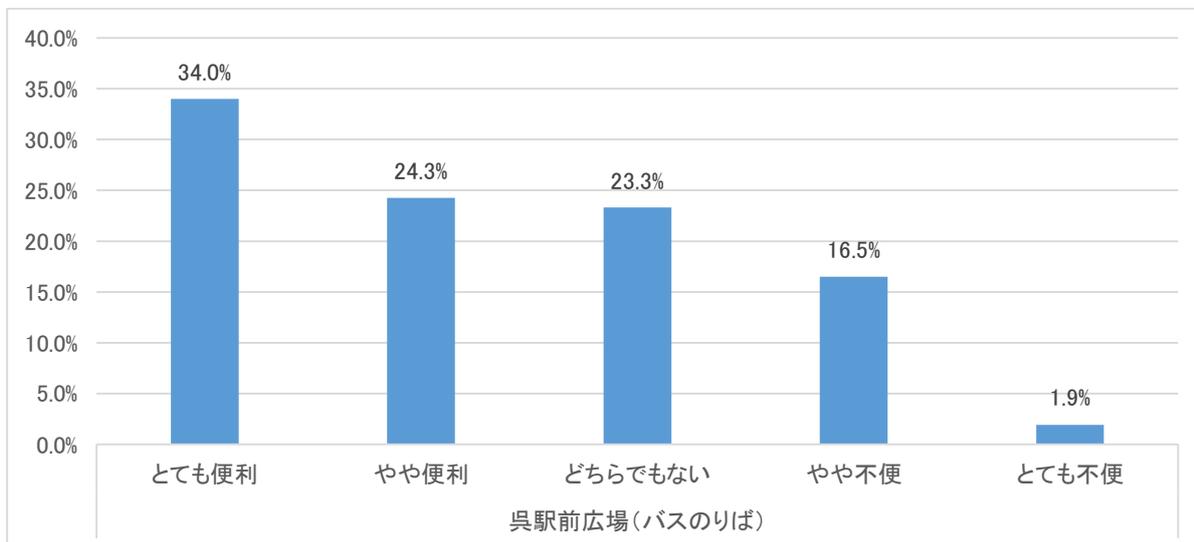
～8時	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～
4	17	37	28	34	21	11	6	2



Q5. 現在の呉駅周辺の公共施設について（施設ごとに1つつ〇）【SA】

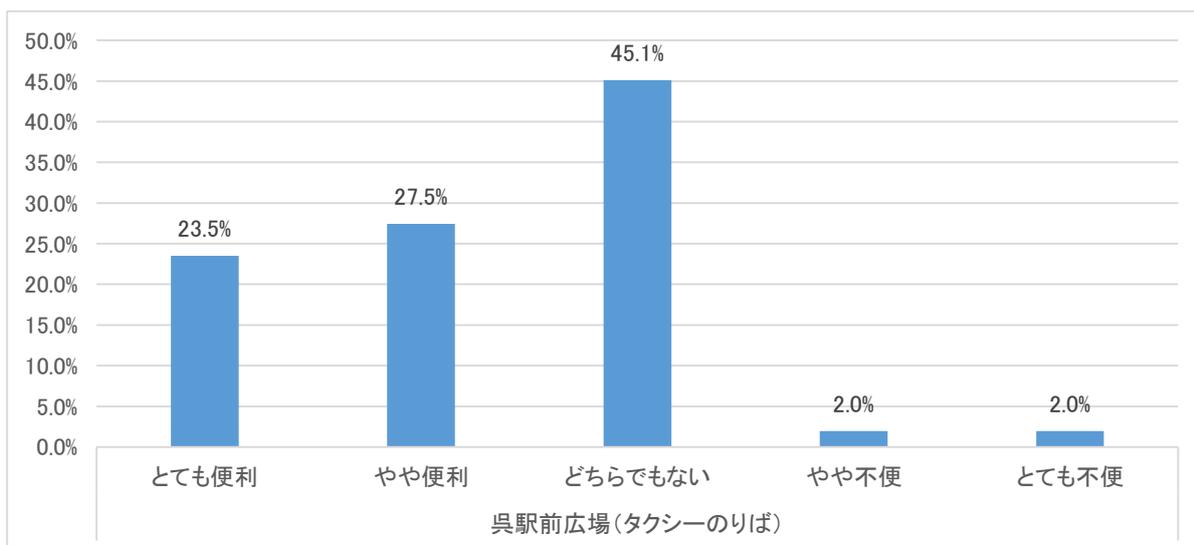
・呉駅前広場（バスのりば）（n=103）

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
35	25	24	17	2



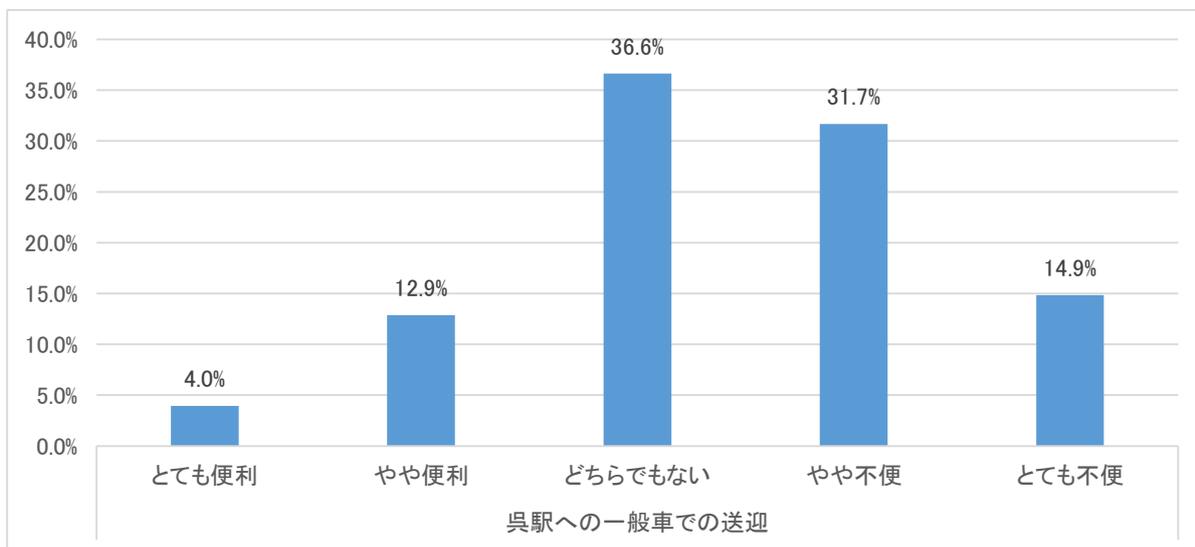
・呉駅前広場（タクシーのりば）（n=102）

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
24	28	46	2	2



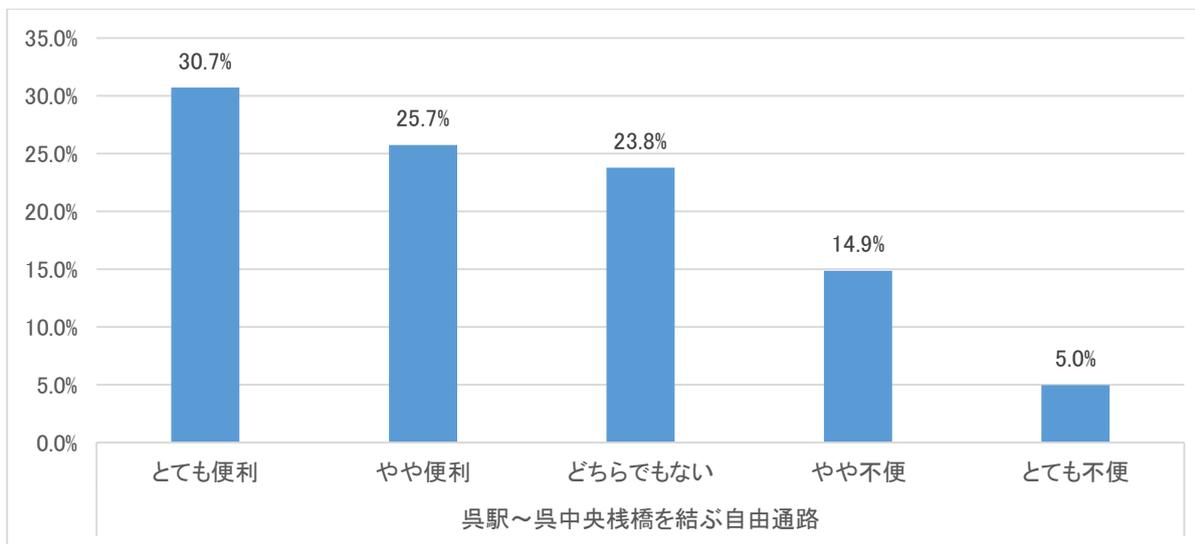
・呉駅への一般車での送迎 (n=101)

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
4	13	37	32	15



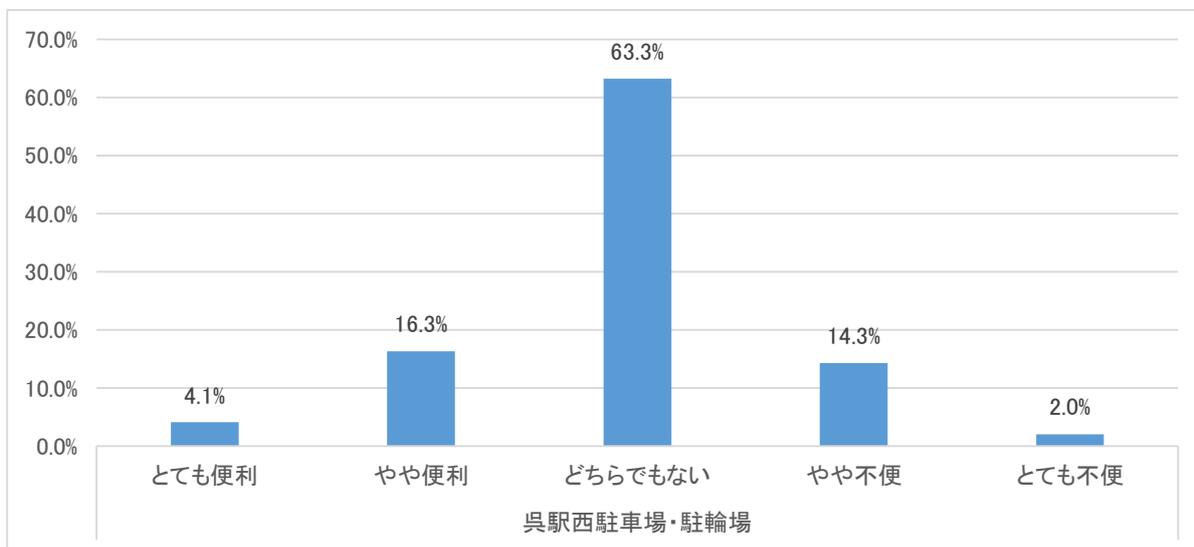
・呉駅～呉中央棧橋を結ぶ自由通路 (n=101)

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
31	26	24	15	5



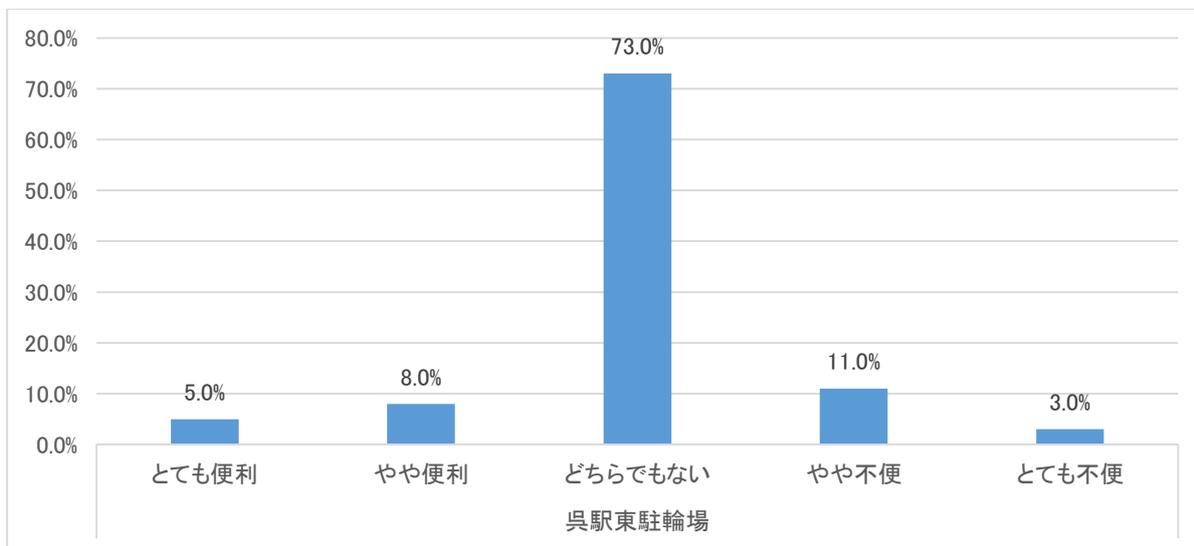
・呉駅西駐車場・駐輪場 (n=98)

とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
4	16	62	14	2



・呉駅東駐輪場 (n=100)

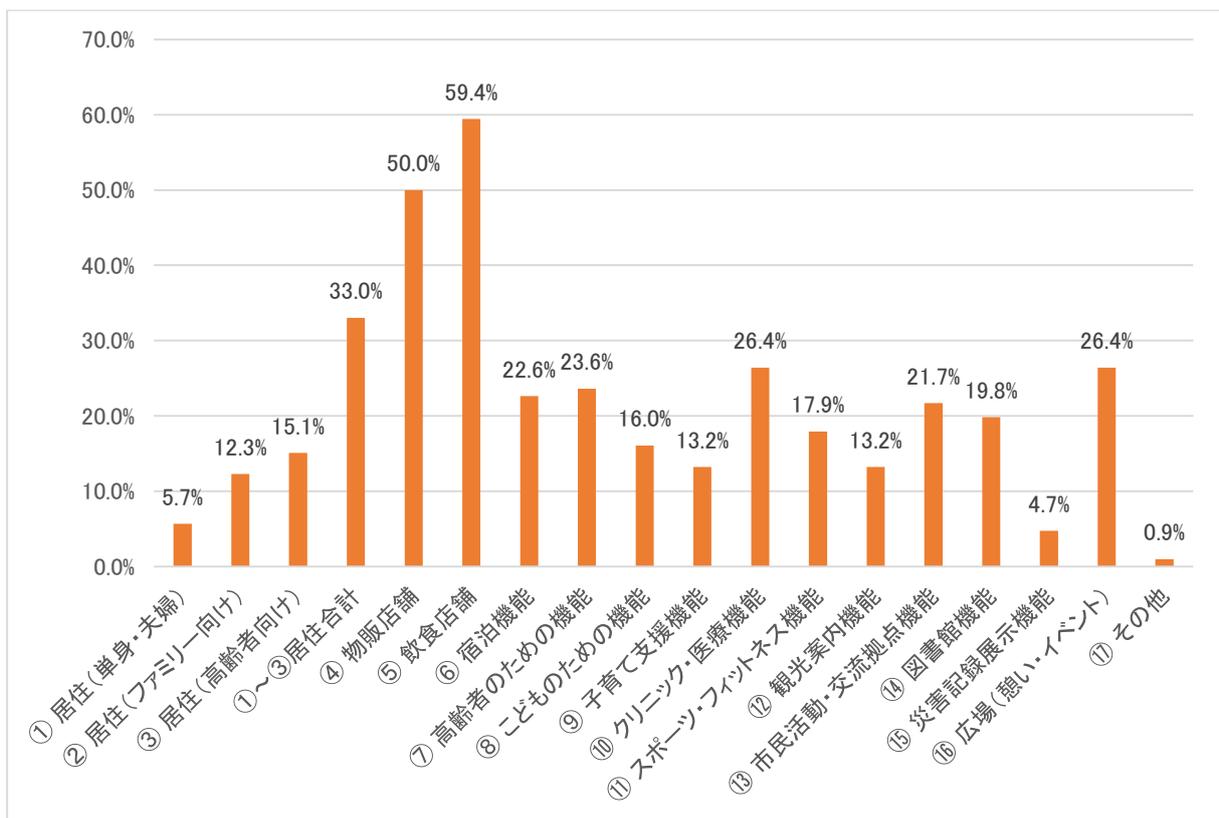
とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
5	8	73	11	3



Q 6. そごう跡地に整備する複合施設に必要なと思う機能（3つまでに○）

(n=106) 【MA】

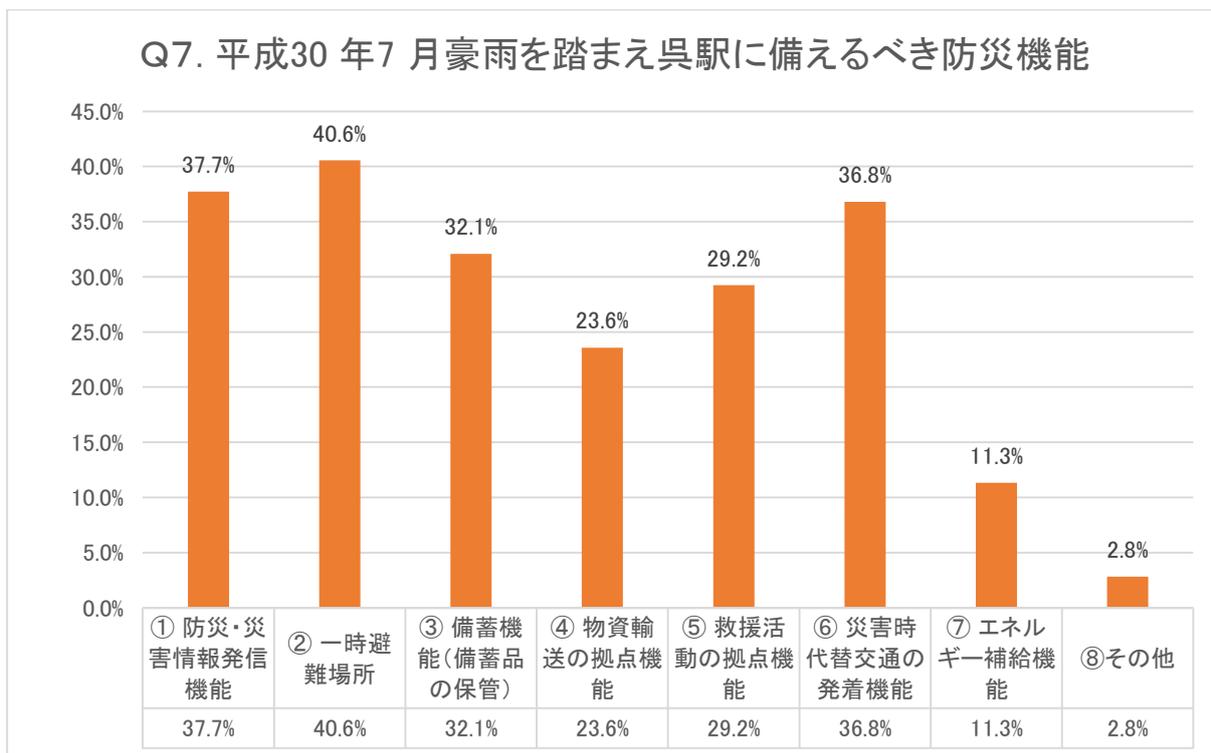
① 居住 (単身・夫婦)	② 居住 (ファミリー向け)	③ 居住 (高齢者向け)	④ 物販 店舗	⑤ 飲食 店舗	⑥ 宿泊 機能	⑦ 高齢 者のた めの機 能	⑧ こど ものた めの機 能	⑨ 子育 て支援 機能
6	13	16	53	63	24	25	17	14
⑩ クリ ニック・医 療機能	⑪ スポ ーツ・フ ィットネ ス機能	⑫ 観光 案内機 能	⑬ 市民 活動・交 流拠点 機能	⑭ 図書 館機能	⑮ 災害 記録展 示機能	⑯ 広場 (憩い・イ ベント)	⑰ その他	
28	19	14	23	21	5	28	1	



⇒市外および県外からの利用者に絞った場合、「69.6%が飲食店舗」「39.1%が物販店舗」「33.0%が居住」を希望している。

Q7. (2つまでに○) 平成30年7月豪雨を踏まえ呉駅に備えるべき防災機能
(n=106) 【MA】

① 防災・災害情報発信機能	② 一時避難場所	③ 備蓄機能(備蓄品の保管)	④ 物資輸送の拠点機能
40	43	34	25
⑤ 救援活動の拠点機能	⑥ 災害時代替交通の発着機能	⑦ エネルギー補給機能	⑧その他
31	39	12	3

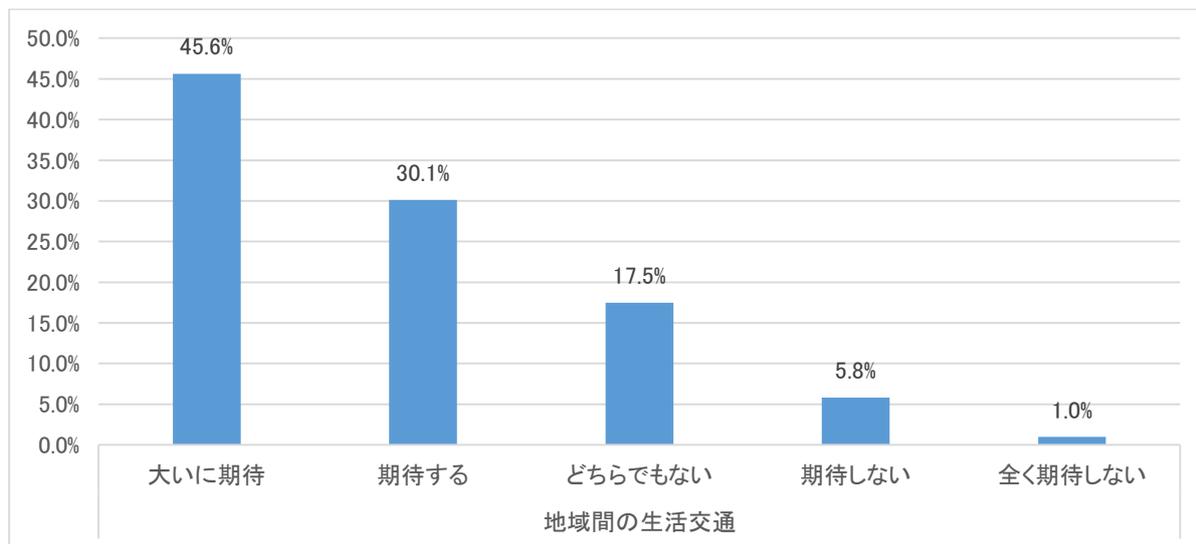


Q8. 自動運転車など次世代の移動手段に期待すること【SA】

(1) (種別ごとに1つずつ○) 次世代バス導入への期待度をお答えください。

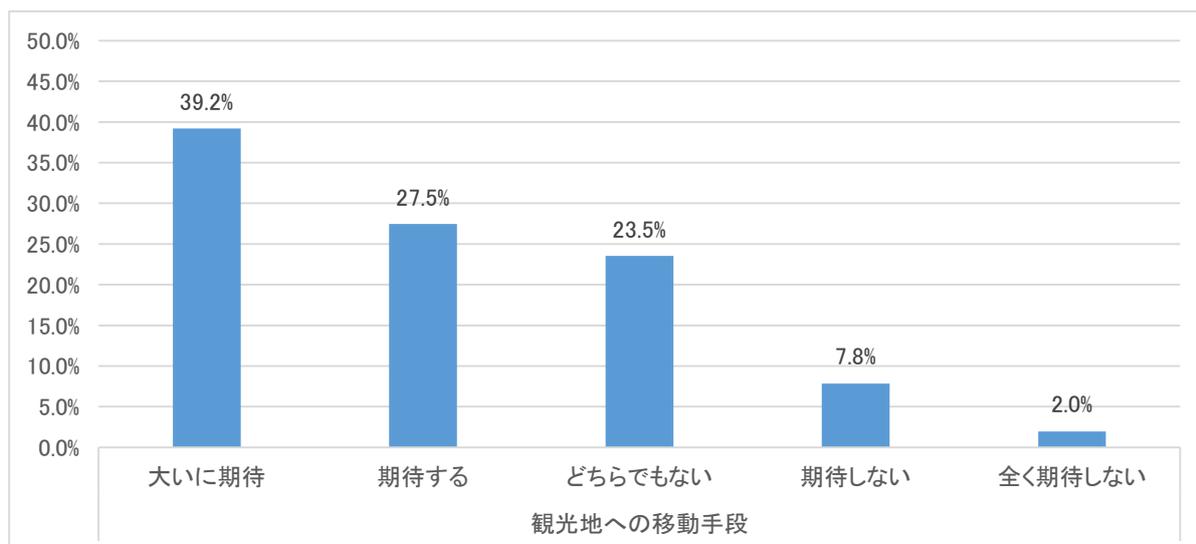
・地域間の生活交通 (n=103)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
47	31	18	6	1



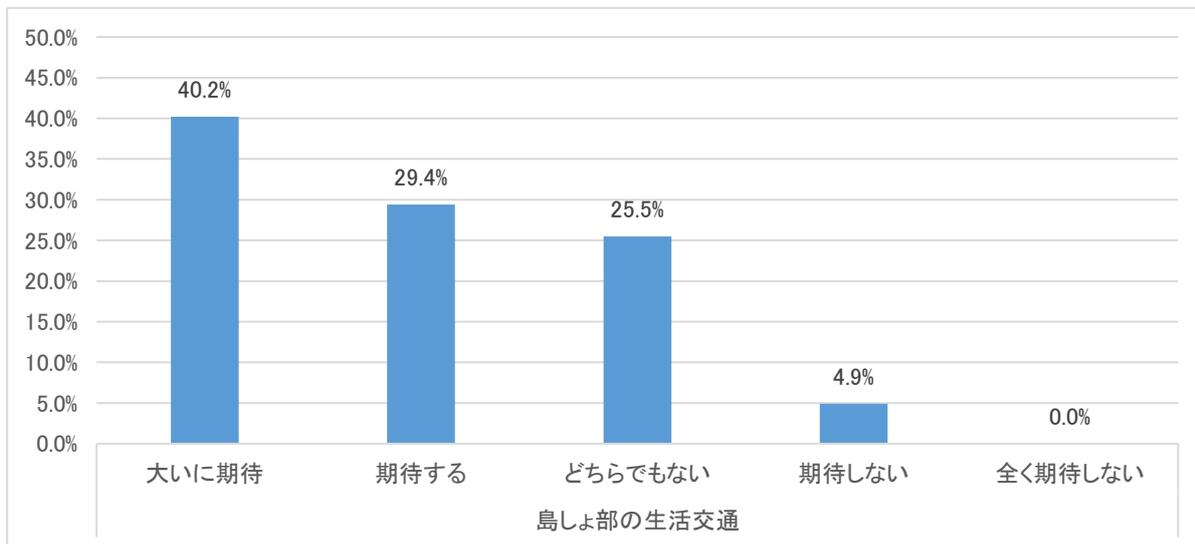
・観光地への移動手段 (n=102)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
40	28	24	8	2



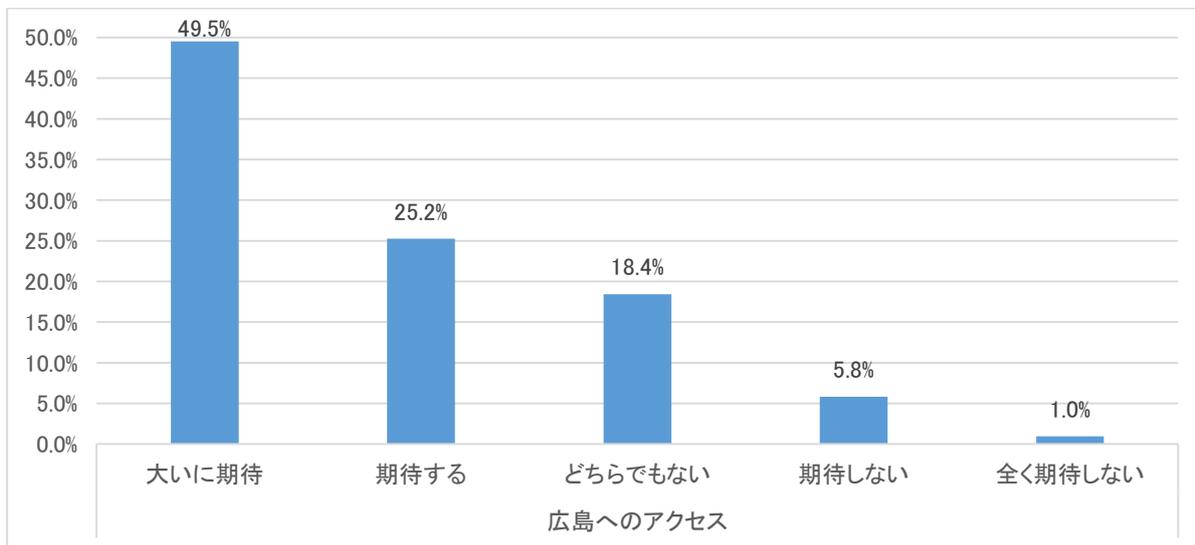
・島しょ部の生活交通 (n=102)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
41	30	26	5	0



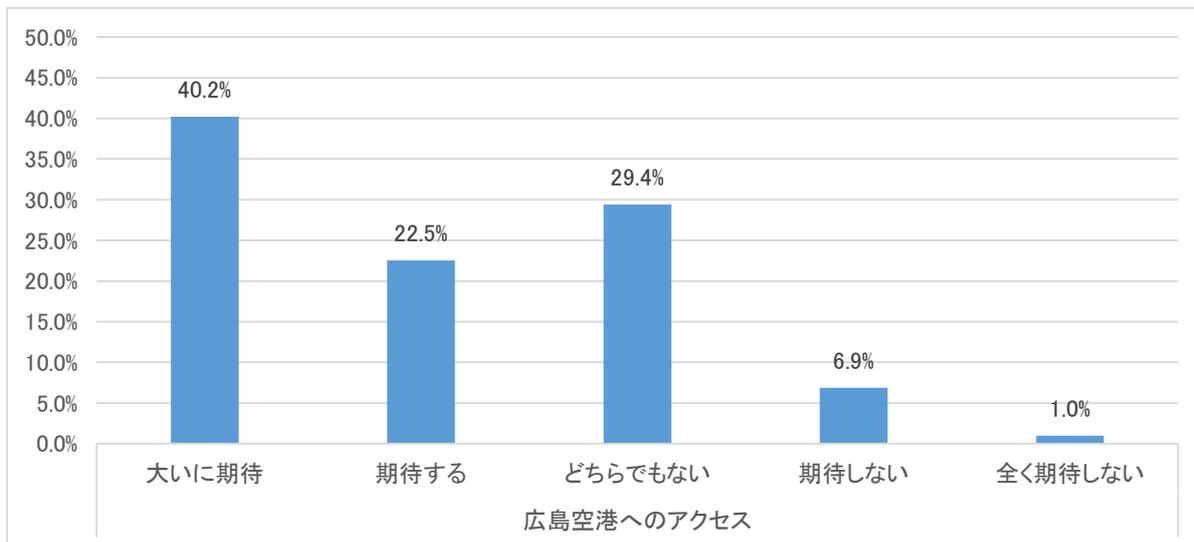
・広島へのアクセス (n=103)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
51	26	19	6	1



・広島空港へのアクセス (n=102)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
41	23	30	7	1

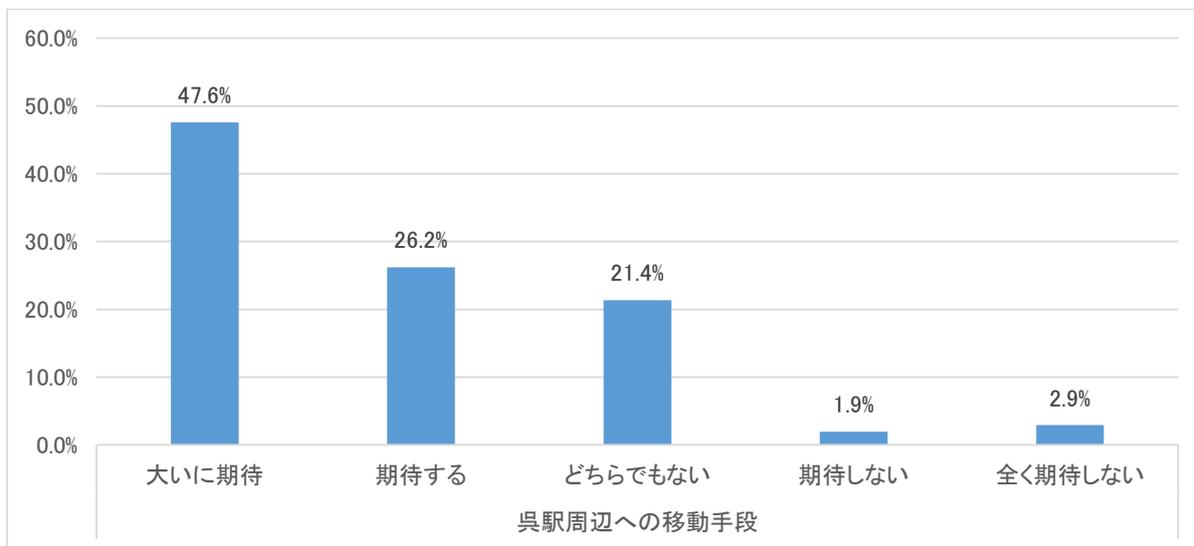


(2) (種別ごとに1つずつ○)

次世代の小型自動運転車導入への期待度をお答えください。

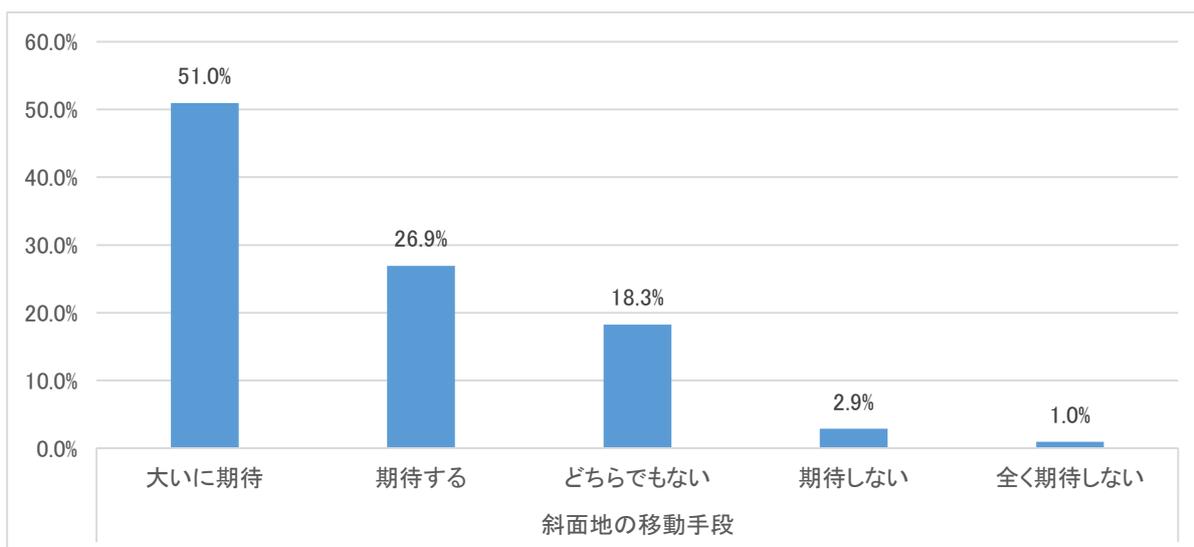
・呉駅周辺への移動手段 (n=103)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
49	27	22	2	3



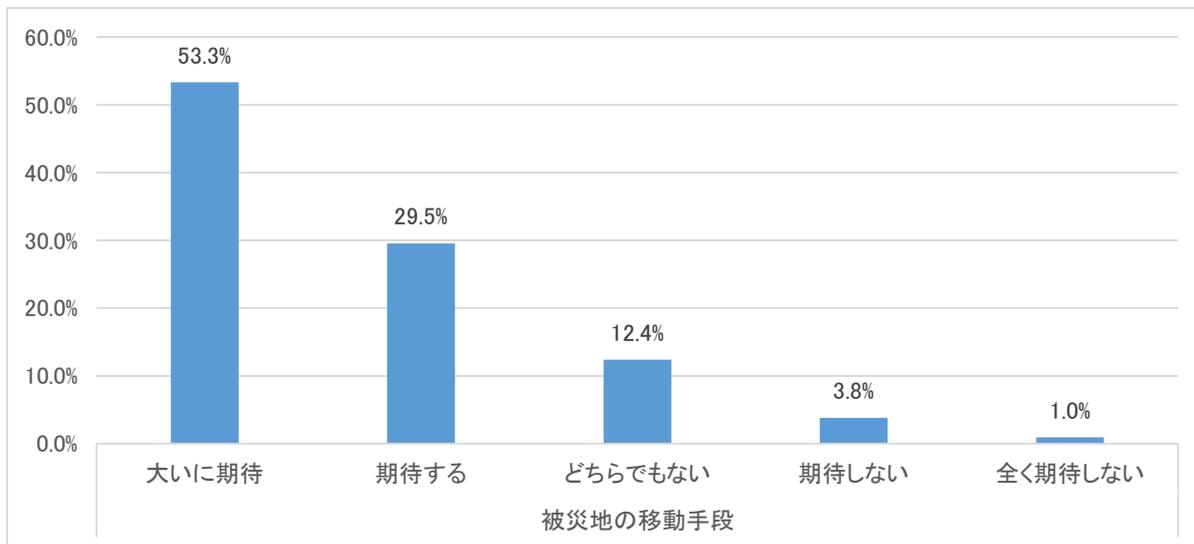
・斜面地の移動手段 (n=104)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
53	28	19	3	1



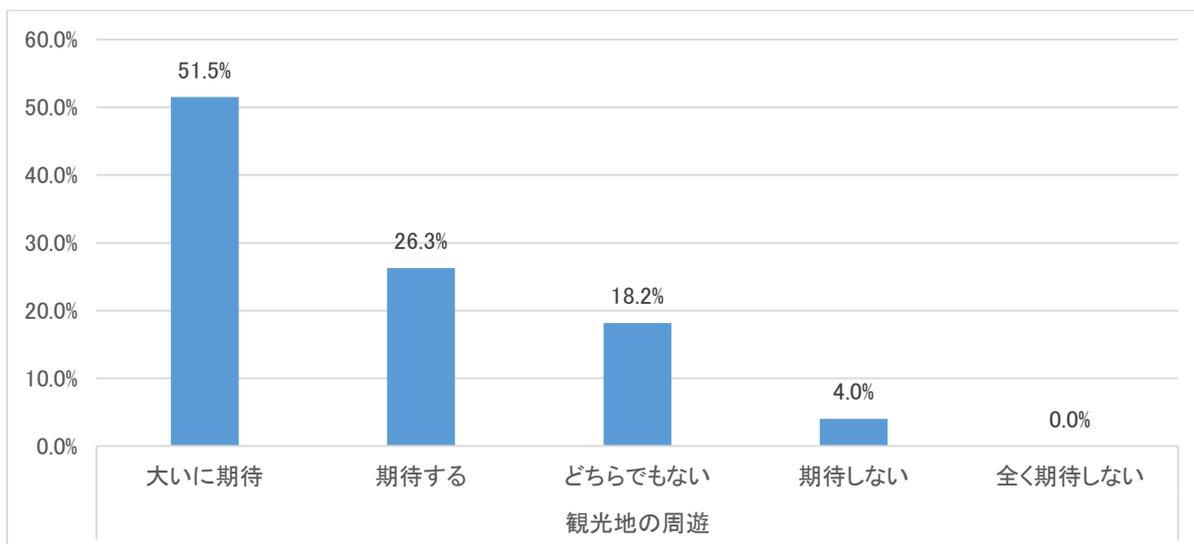
・被災地の移動手段 (n=105)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
56	31	13	4	1



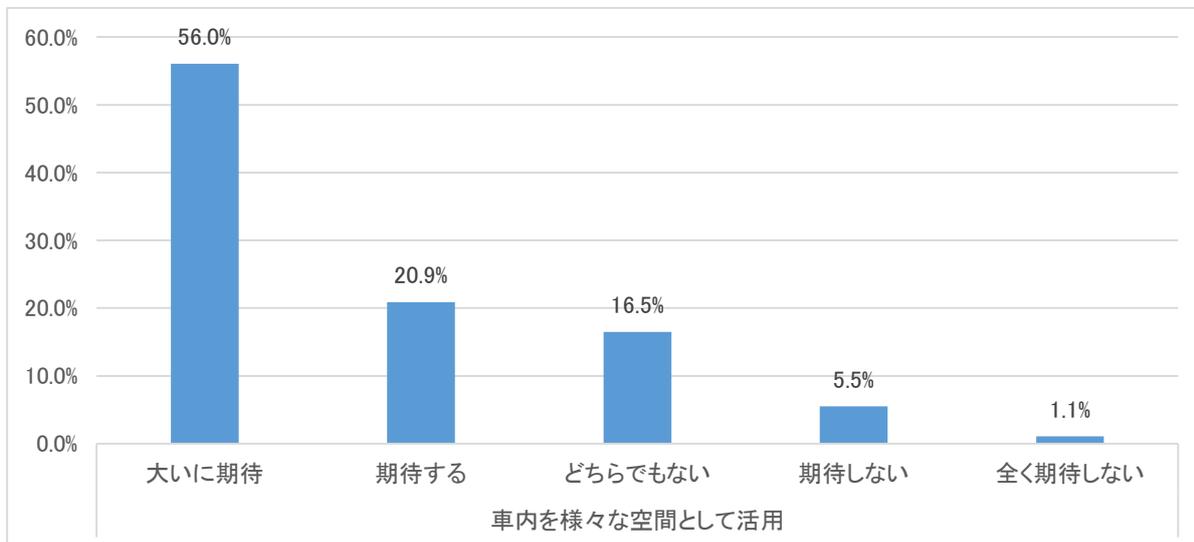
・観光地の周遊 (n=99)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
51	26	18	4	0



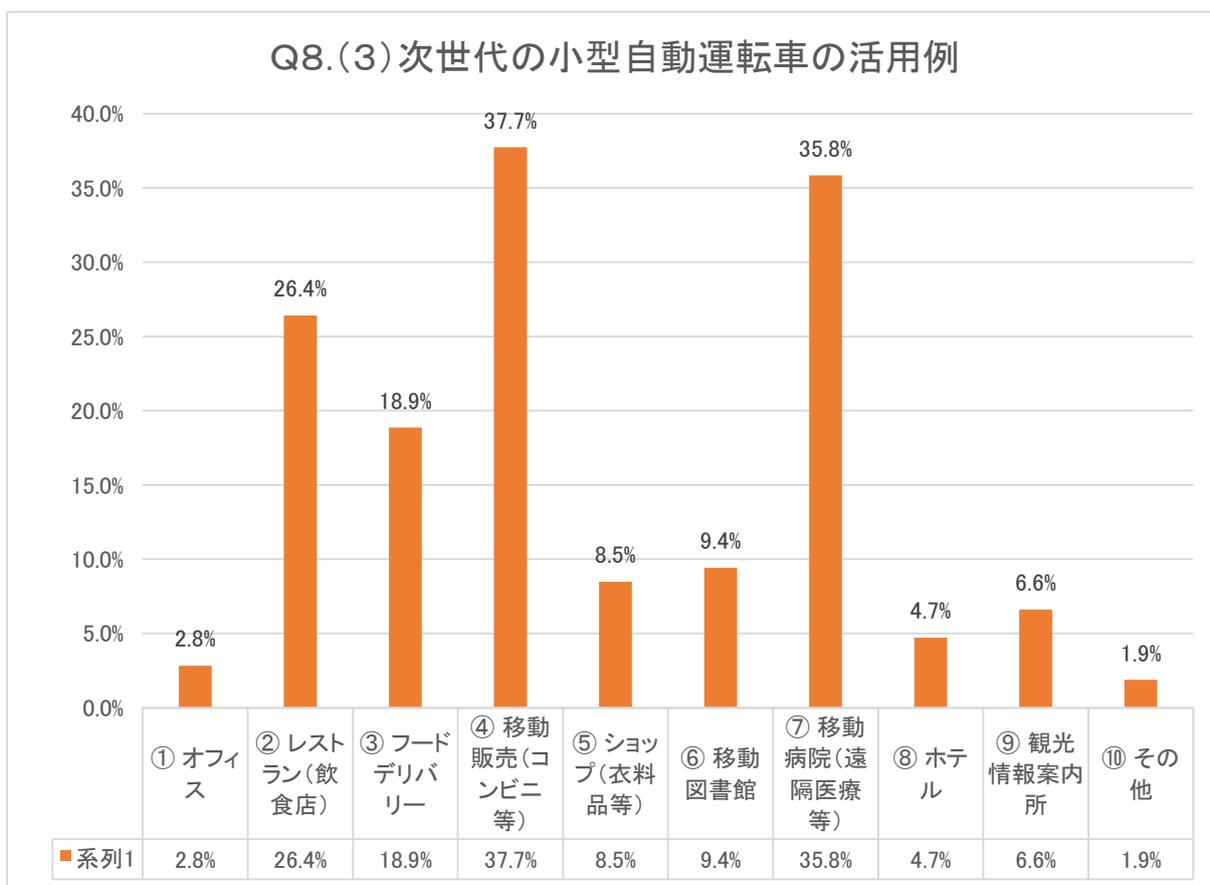
・車内を様々な空間として活用 (n=91)

大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
51	19	15	5	1



(3) (2つまでに○) 次世代の小型自動運転車の活用例 (n=106) 【MA】

① オフィス	② レストラン (飲食店)	③ フードデリバリー	④ 移動販売 (コンビニ等)	⑤ ショップ (衣料品等)
3	28	20	40	9
⑥ 移動図書館	⑦ 移動病院 (遠隔医療等)	⑧ ホテル	⑨ 観光情報案内所	⑩ その他
10	38	5	7	2



駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するアンケート【調査票】

～呉駅周辺地域の総合開発に向けたアンケートにご協力ください～

呉市では、呉駅周辺地域の総合開発に向けて、昨年5月に有識者による懇談会を設置し、本年3月27日に懇談会から「呉駅周辺地域総合開発に関する提言書」をいただきました。

今年度は、この提言を基に「呉駅周辺地域総合開発に関する基本計画」を策定します。

この基本計画の策定に当たり、市民の皆さまにご意見を伺うためのアンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。



- ・ 提言書の詳しい内容は、「呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会」
HP www.city.kure.lg.jp/soshiki/90/sougoukaihatu4.html をご覧ください。



■ お問い合わせ先

【調査受託先】 株式会社アール・アイ・エー

担当：東京支社 計画一部 生田

TEL 03-3458-6601

【調査主体】 呉市

担当：呉駅周辺事業推進室 橋本・林・島津江

TEL 0823-25-3558

・設問は全部で9問です。

■ 初めに、あなた自身についてお聞かせください。(該当する選択肢に○)

【ご性別】	男性	/	女性	/	その他										
【ご年齢】	10代	/	20代	/	30代	/	40代	/	50代	/	60代	/	70代	/	80代～

Q1. (最も近い1つに○) 呉駅への来訪頻度

① 週3回以上	② 週に1～2回	③ 月に1回程度	④ 年に数回以下
⑤ 上記以外 (全く行かない・行ったことがない) →Q6.へ進む			

Q2. (当てはまるすべてに○) 呉駅への来訪目的

① 日常の買い物	② 観光・お出かけ	③ 定期的な用事 (通院・習い事など)
④ 周辺に住んでいる	⑤ 呉駅周辺への通勤・通学 (自営業含む)	
⑤ 呉駅から交通機関を使用 (鉄道・バス・船などの乗換えを含む) (行先 _____ 目的 _____)		
⑥ その他 (_____)		

Q3. (平日・休日両方を回答)(1つずつに○) 呉駅への来訪手段

複数の交通手段をご使用の場合は、呉駅直近の交通手段をお答えください。

【平日】

① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車
⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩
⑨ その他 (_____)			

【休日】

① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車
⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩
⑨ その他 (_____)			

*** 次のページに続きます ***

Q4. (平日・休日両方を回答) (当てはまる時間帯すべてに○) 呉駅への来訪時間帯
 呉駅や駅周辺施設を利用する主な時間帯をお聞かせください。

平日									
	～8時	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～
休日									

Q5. (施設ごとに1つずつ○) 現在の呉駅周辺の公共施設について

呉駅周辺の公共施設の利便性についてお答えください。 ※添付の地図を参照ください。

公共施設名	とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
呉駅前広場 (バスのりば)	1	2	3	4	5
呉駅前広場 (タクシーのりば)	1	2	3	4	5
呉駅への一般車での送迎	1	2	3	4	5
呉駅～呉中央棧橋を結ぶ自由通路	1	2	3	4	5
呉駅西駐車場・駐輪場	1	2	3	4	5
呉駅東駐輪場	1	2	3	4	5

Q6. (3つまでに○) そごう跡地に整備する複合施設に必要なと思う機能

懇談会からは、そごう跡地の活用について、駅前広場と一体となった複合施設の整備が提言されました。この複合施設に求める機能として望ましいと思うものをお答えください。

① 居住 (単身・夫婦)	② 居住 (ファミリー向け)	③ 居住 (高齢者向け)
④ 物販店舗	⑤ 飲食店舗	⑥ 宿泊機能
⑦ 高齢者のための機能 (交流機能、相談窓口等)	⑧ こどものための機能 (遊び・学び・体験施設等)	⑨ 子育て支援機能 (一時預かり、相談機能等)
⑩ クリニック・医療機能	⑪ スポーツ・フィットネス機能	⑫ 観光案内機能
⑬ 市民活動・交流拠点機能	⑭ 図書館機能	⑮ 災害記録展示機能
⑯ 広場 (憩い・イベント)	⑰ その他 ()	

*** 次のページに続きます ***

Q7. (2つまでに○) 平成30年7月豪雨を踏まえ呉駅に備えるべき防災機能

懇談会からは、平成30年7月豪雨を踏まえ、呉駅周辺を地域の防災拠点とすることが提言されました。災害時の防災機能として、呉駅周辺に備えるべきと思われる防災機能をお答えください。

① 防災・災害情報発信機能	② 一時避難場所	③ 備蓄機能（備蓄品の保管）
④ 物資輸送の拠点機能	⑤ 救援活動の拠点機能	⑥ 災害時代替交通の発着機能
⑦ エネルギー補給機能	⑧ その他（ ）	

Q8 自動運転車など次世代の移動手段に期待すること

懇談会では、次世代モビリティとして、(1)自動運転 + 接続（隊列）走行による大量輸送が可能な次世代バス（例 トヨタ自動車「SORA」）、(2)自動運転 + 車内空間を自由に利用できる中・小型車両（例「e-Palette」；イー・パレット）の導入について提案がありました。

(1) **(種別ごとに1つずつ○)** 次世代バス導入への期待度をお答えください。

種別	大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
地域間の生活交通 (例：呉駅 ⇄ 天応・安浦等)	1	2	3	4	5
観光地への移動手段 (例：呉駅 ⇄ 御手洗など)	1	2	3	4	5
島しょ部の生活交通 (例：呉駅 ⇄ 倉橋など)	1	2	3	4	5
広島へのアクセス (例：呉駅⇄バスセンター)	1	2	3	4	5
広島空港へのアクセス	1	2	3	4	5

次世代バスとは

- ・騒音や振動が少ない快適な乗り心地で、**高齢者にもやさしい**
- ・水素を燃料とし、**排気ガスを排出しない**
- ・給電機能は、**災害時の非常電源として有効**
- ・自動運転・複数台が連なる走行（隊列走行）による**フレキシブルな運行が可能**



例 トヨタ自動車「SORA」

(トヨタ自動車株式会社ホームページ等より作成)

*** 次のページに続きます ***

(2) (種別ごとに1つずつ) 次世代の小型自動運転車導入への期待度をお答えください。

種 別	大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
【移動手段としての活用】					
呉駅周辺への移動手段 (例：呉駅 ⇄ 中央棧橋など)	1	2	3	4	5
斜面地の移動手段 (例：自宅付近 ⇄ 主なバス停)	1	2	3	4	5
被災地の移動手段 (例：自宅付近 ⇄ 主な駅・バス停)	1	2	3	4	5
観光地の周遊	1	2	3	4	5
【その他の活用】					
車内を様々な空間として活用 (例：移動販売、オフィス、レストランなど)	1 2 └──────────────────┘ 1 又は 2 とご回答いただいた方 ⇒ Q8 (3) へ		3 4 5 └──────────────────┘ 3～5 とご回答いただいた方 ⇒ Q9 へ		

次世代 小型自動運転車とは

- 自動運転による移動・物流
- 車内空間を様々なサービスに対応



例 トヨタ自動車「e-Palette」

オフィス



レストラン



(トヨタ自動車株式会社ホームページ等より作成)

*** 次のページに続きます ***

(3) (2つまでに○) 次世代の小型自動運転車の活用例

小型自動運転車(例「e-Palette」)の活用方法として、あなたが利用したいと思うものをお答えください。

① オフィス	② レストラン(飲食店)	③ フードデリバリー
④ 移動販売(コンビニ等)	⑤ ショップ(衣料品等)	⑥ 移動図書館
⑦ 移動病院(遠隔医療等)	⑧ ホテル	⑨ 観光情報案内所
⑩ その他()		

Q9. (自由記述) その他、呉駅周辺地域の開発に期待すること

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

対話型ニーズ調査 中間報告

1 実施概要

第1期民間開発想定エリアについて、事業組成段階から民間事業者のノウハウを活用するため、昨年度の「市場ニーズ調査」に引き続き、「対話型ニーズ調査」を実施するもの

- (1) 調査対象 対話型ニーズ調査へ参加意向のある事業者
- (2) 募集方法 募集要項をホームページ等により周知し、参加者を募集
※ 昨年度ニーズ調査対象者にも、意向確認
- (3) 調査期間 令和元年7月下旬 ～
- (4) 参加事業者 18社（新規5社）
- (5) 調査方法 対面型聞き取り調査（随時、書面アンケート等を併用）
- (6) 調査内容
 - ・ 事業範囲
 - ・ 用途、規模等の詳細
 - ・ 事業手法その他事業化に向けての課題 など

2 これまでの実施状況

(1) プレアンケート（8月）

全社に対し、書面アンケートを実施

- ・ 調査の進め方への要望
- ・ 事業実施上の課題

(2) 資料提供（8月）

行政情報の提供（公図、建物図面など）

(3) プレヒアリング（8月～9月）

ヒアリングを希望する事業者（13社）から、ヒアリングを実施

- ・ 用途、規模等
- ・ 事業実施上の課題

(4) 論点整理アンケート（10月）

今後の概略提案に向けて、全社に対し、書面アンケートを実施

- ・ 立体道路制度について
- ・ アーバンデザインセンターについて

3 これまでの調査結果（中間報告） ～ 民間事業者の回答傾向 ～

(1) 総論

ア 用途・規模

- (ア) マンション機能をメイン機能として想定する意見が多数。
想定規模は、100～150戸
 - ▶ マンション機能をメイン機能として想定する意見 12社
- (イ) 商業機能は、過度の整備には事業的リスクがあるとする意見多数。
想定規模は、3,000㎡～6,000㎡
 - ▶ 商業機能の過度の整備（概ね3,000㎡以上）にリスクがあるとする意見 8社
- (ウ) そのほか、保育所機能、図書閲覧機能の配置が相乗効果を生むとする意見あり。
 - ▶ 保育所機能（公設・民設を問わない）に関する意見 8社
 - ▶ 図書閲覧機能（小規模なものを含む）に関する意見 6社

イ 事業実施上の課題

- 不確定要素の大きい解体費用が課題
 - ▶ 解体費用が課題であるとする意見 10社

(2) 各論

ア 立体道路制度について

- (ア) 建物完成後の権利関係の明確化を求める意見多数。
立体道路部分の底地を民間事業者が保有することを懸念する意見もあり。
 - ▶ 建物完成後の権利関係に関する意見・質疑 13社

イ アーバンデザインセンターについて

- (ア) 公・民・学でまちづくりに取り組むアーバンデザインセンターへ開発事業者が参画することの社会的意義については、概ね肯定的な意見。
参画可能とする意見もあり。
 - ▶ アーバンデザインセンターへの参画を可能とする意見 8社
- (イ) ただし、無期限、無定量の参画は難しいという意見も多数
 - ▶ 参画期間等について一定の限度設定を求める意見 8社

4 今後の予定

- (1) 概略提案（12月～1月）
簡易な平面イメージ図・断面イメージ図による概略提案を依頼中。
ヒアリングを希望する事業者とのヒアリングを予定
- (2) 追加ヒアリング
必要に応じ、概略提案等を題材に、追加ヒアリングの継続実施を予定

次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験 実施概要（報告）

1 目的・趣旨

- 呉市は、人口減少、高齢化社会の進行によるバス利用者の減少、運転手不足による公共交通（バス路線など）の維持が、大きな課題となっている。
また、呉駅周辺地域では、そごう呉店跡地の再生による賑わいの創出、駅前広場の再整備による交通結節機能の強化が喫緊の課題である。
- こうした課題を抱える中、平成31年3月、「呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会」から、呉駅周辺地域の将来像について、
『 JR・バス・航路など複数の交通モードが結節する呉駅周辺地域の優位性を活かし、災害時には防災拠点としても機能する総合交通拠点の整備』、『呉駅周辺地域と広島市等を結ぶ都市間アクセスや、斜面市街地の移動手段としての次世代モビリティの導入など、交通まちづくりを軸としたスマートシティの実現 』
などについて、提言をいただいた。
- 呉市では、この提言を踏まえ、人口減少・高齢化社会においても持続可能なまちづくりを実現するため、呉駅周辺地域の総合交通拠点整備を推進するとともに、この総合交通拠点を核として、次世代モビリティ（次世代BRT、自動運転車両など）やMa a Sなどの新技術を活用した交通体系の再構築を实践すべく、「交通まちづくり」に向けた検討を進めている。
- この社会実験では、トヨタ自動車株式会社の御協力により、災害時における非常電源機能を有し、更には、将来の自動運転や隊列走行にも対応する燃料電池バス「SORA」を実験車両として公道走行実験等を実施し、今後の「交通まちづくり」に向けた、利用者の受容性検証及び理解促進、並びに市全体の機運醸成を図るものである。

2 実施概要

(1) 使用車両 トヨタ自動車製「SORA」
(燃料電池バス)

燃料電池バス「SORA」

- ・ 水素を燃料とし、排ガスが出ない
- ・ 騒音や振動が少ない
- ・ 給電機能があり、災害時の非常電源として利用可能



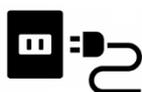
(2) 実施内容

① 災害時 非常電源機能 体験イベント

- ・ 災害時の停電を想定し、SORAから避難所に見立てた防災テントへ電力を供給するデモンストレーションを実施
- ・ 災害時に必要となる電気ポット、スマホ充電器、電気ストーブ等の電力として使用

【日時】 令和元年11月27日（水）15:00～19:30

【場所】 呉市役所中央公園横（旧市役所臨時駐車場）



防災テント

※ 併せて、NTTドコモ「移動基地局車」・「ニューコンセプトカート」を呉市役所構内で特別展示

② 公道走行実験

- ・ 交通拠点となる「呉駅」、「呉中央栈橋」、観光・生活拠点となる「れんがどおり」等に臨時バス停を設置。これらを経由する周回ルートでSORAが乗客を乗せて走行
- ・ バスロケーションシステムにより、バス位置情報をリアルタイムで表示。臨時バス停のバス待ち客に対し、タブレット等により情報を提供

【日 時】 令和元年11月30日（土）、12月1日（日）、7日（土）、8日（日）

※ 土曜日・日曜日の4日間運行

【便 数】 4便/日 ※出発時刻 11:00（第1便）～14:30（第4便）

【料 金】 無料

【実施ルート】 1周 約5km, 約35分



(3) 効果検証

① アンケート調査

- ・ SORA利用者
【調査事項】 車両の乗り心地, 利用意向, 希望する区間, 導入への期待度 等
- ・ れんがどおり商店街関係者
【調査事項】 導入への期待度, れんがどおり通行上の課題 等
- ・ SORA運転手
【調査事項】 操作性, 静穏性, 快適性 等
- ・ 災害時 非常電源機能 体験イベント 参加者
【調査事項】 非常電源機能の有用性, 期待度 等

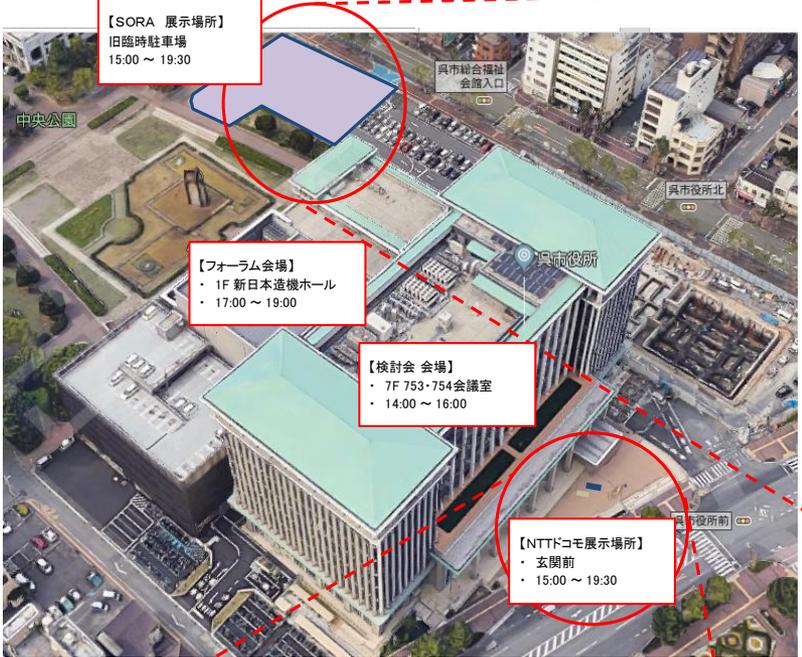
② 移動速度情報

- ・ GPSからのデータ取得
【データ】 移動速度情報, 区間所要時間の把握 等

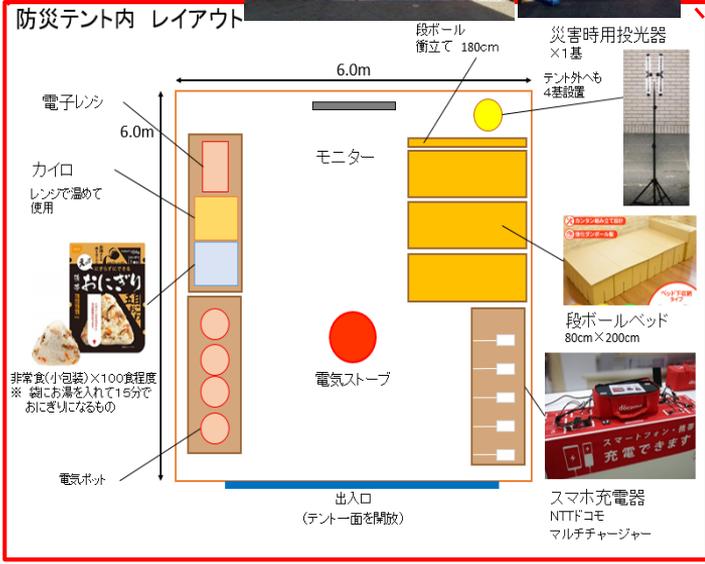
実施項目	目的	実施内容
<p>公道走行</p> <p>コミュニティバスルート (L=約5km)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合交通拠点(鉄道・バス・航路)としての交通機能向上、生活利便性向上のための1つのツールとして、次世代モビリティを市民に体験してもらう。 ● CO₂や環境負荷物質を排出せず、騒音・振動の少ない次世代モビリティの車両特性を確認してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通拠点とあわせて、駅周辺の生活拠点、観光拠点をつなぐルートを走行 ● 呉駅～大和ミュージアム・呉中央棧橋～青山クラブ～れんが通り～呉市役所～呉駅の周回ルート ● 料金は無料。 運行は11時～15時(4便/日) ● 乗客へのアンケート調査により、次世代モビリティへの期待度や利用区間のニーズを把握する。
<p>非常電源PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● FCバス(SORA)の非常電源機能を市民に確認してもらう。 ● 非常電源機能を有した次世代モビリティの導入により、災害時には呉駅周辺を臨時の電力供給基地として運用され、地域の防災機能が向上すること体験してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● FCバス(SORA)の非常電源機能のデモンストラーションを実施

非常電源PRイベント

次世代モビリティ 特別見学会 【11/27(水)】



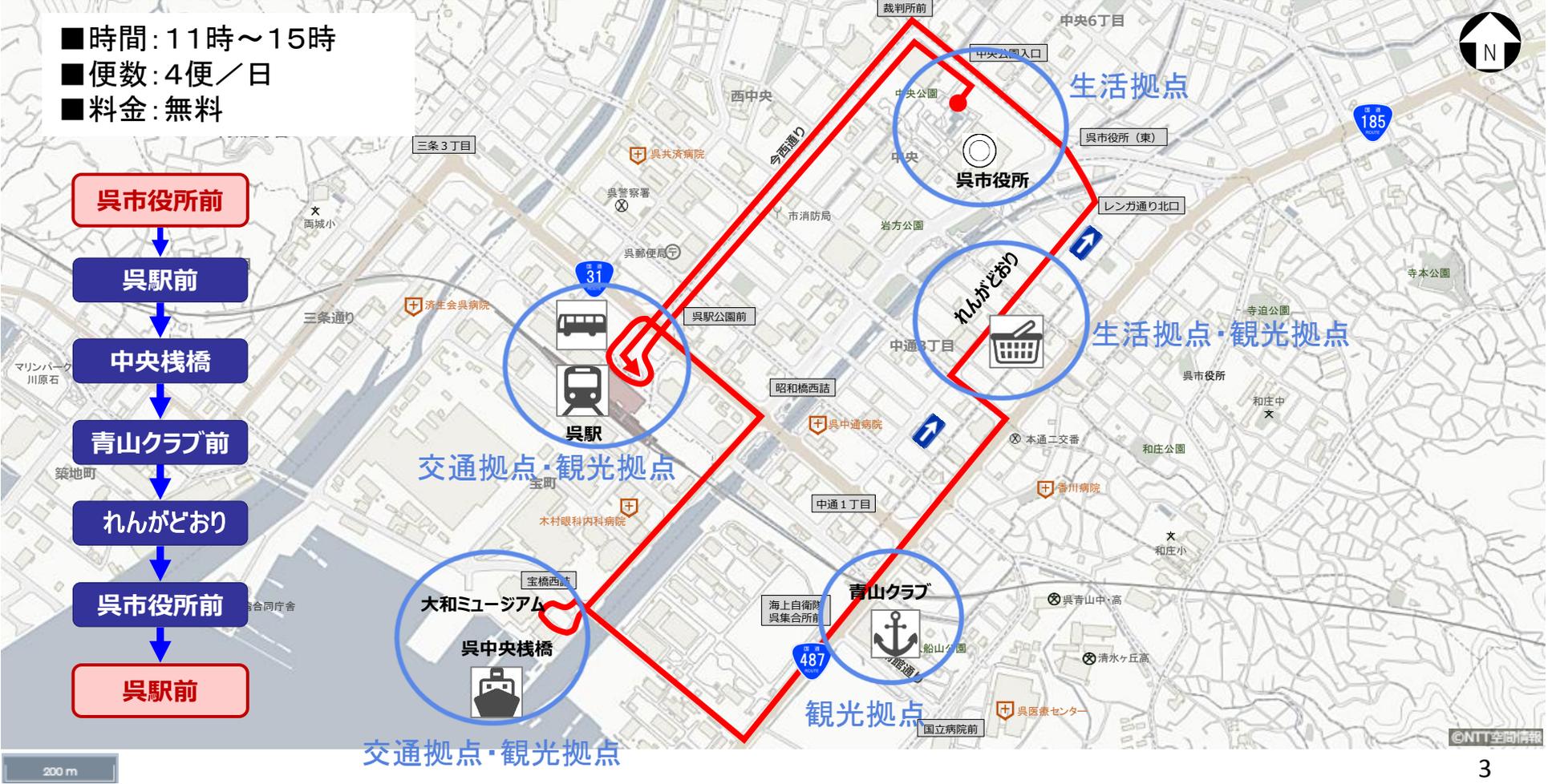
- 映像素材 (呉市の文化・観光)
- ・ 呉市フォトバンク(お宝90選・静止画)
 - ・ 呉駅周辺地域総合開発 パース



公道走行 コミュニティバスルート案(呉市役所⇒呉駅・港・れんが通りなど)

課題: 呉駅周辺は3つの交通モード(鉄道・バス・航路)が集積する交通拠点であるが、一般車の進入が規制される駅前広場やそれぞれをつなぐ歩行動線が悪いことなどから、各交通モードのアクセス機能の強化が必要

- 交通拠点とあわせて、駅周辺の生活拠点、観光拠点をつなぐルートを走行
- 総合交通拠点(鉄道・バス・航路)としての機能向上、生活利便性向上のための1つのツールとして、次世代モビリティを市民に体験してもらう。
- CO₂や環境負荷物質を排出せず、騒音・振動の少ない次世代モビリティの車両特性を確認してもらう。



バス運行スケジュール

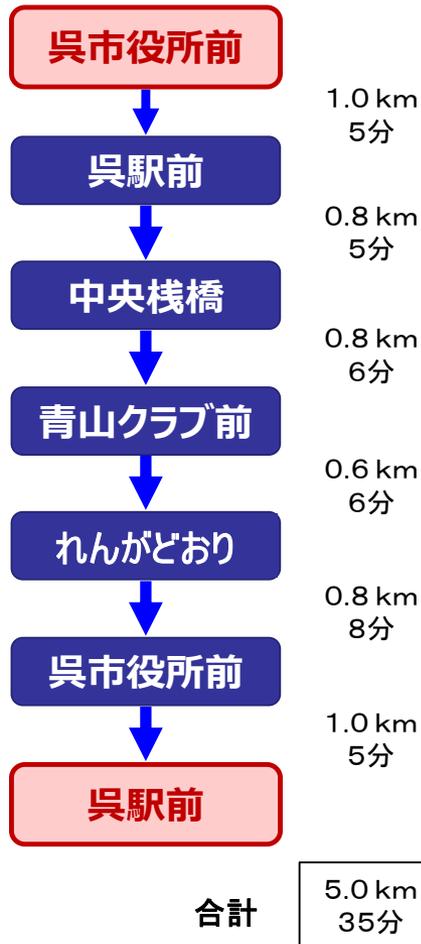
【日 時】 令和元年11月30日(土), 12月1日(日), 7日(土), 8日(日)

※ 土日曜日のみ4日間運行

【便 数】 4便/日 ※出発時刻 11:00(第1便)~14:30(第4便)

【料 金】 無料

バス運行ダイヤ

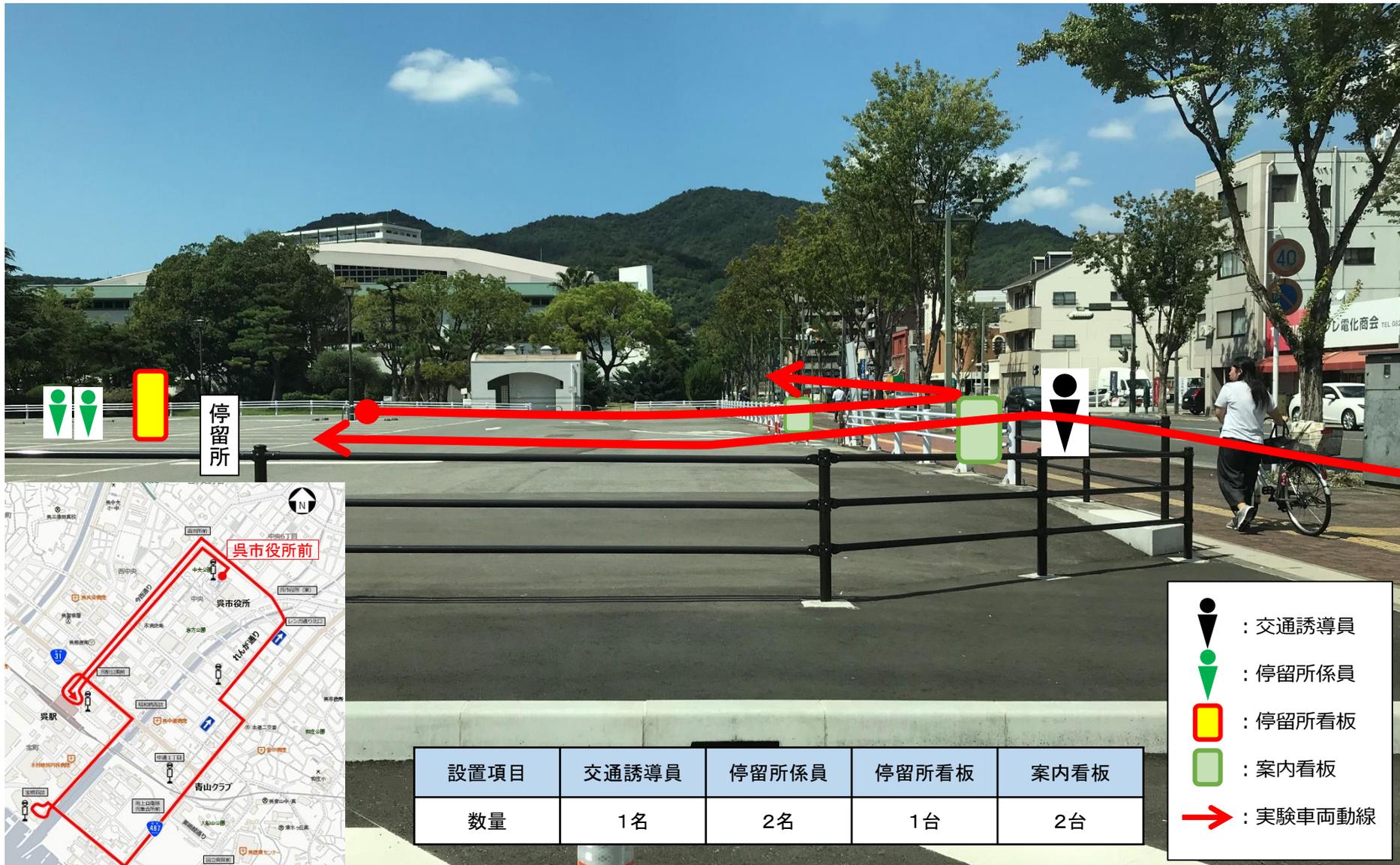


停留所	第1便	第2便	第3便	第4便
呉市役所前	11:00	12:00	13:30	14:30
呉駅前	11:05	12:05	13:35	14:35
中央棧橋	11:10	12:10	13:40	14:40
青山クラブ前	11:16	12:16	13:46	14:46
れんがどおり	11:22	12:22	13:52	14:52
呉市役所前	11:30	12:30	14:00	15:00
呉駅前	11:35	12:35	14:05	15:05

※40km/h走行を想定
(れんがどおり内は5km/hで通行)

呉市役所前

- ・ 呉市役所横の駐車場に停留所を設置（一般車両は進入不可）
- ・ 出入口に交通誘導員を配置し、歩行者の安全確保、一般車両の進入規制を実施



-  : 交通誘導員
-  : 停留所係員
-  : 停留所看板
-  : 案内看板
-  : 実験車両動線

設置項目	交通誘導員	停留所係員	停留所看板	案内看板
数量	1名	2名	1台	2台

呉駅前

- ・ タクシー乗り場と6番停留所の間に停留所を設置
- ・ 6番停留所に停車する既存の路線バスが使用しない時間帯に乗降を行う
- ・ タクシーや他の路線バスの安全な走行を確保するため交通誘導員を配置

設置項目	交通誘導員	停留所係員	停留所看板
数量	1名	1名	1台



中央棧橋前

- 出口へ向かう車線の一部を規制し、停留所を設置
- クレイトンベイホテルのシャトルバスの停留所のポストコーンを撤去し、一般車両が通過するための道路幅員を確保



設置項目	交通誘導員	停留所係員	停留所看板	注意喚起看板	案内看板	カラーコーン
数量	1名	1名	1台	1台	3台	7個

青山クラブ前

- 入船山西観光バス駐車場に停留所を設置
- 乗客を安全に停留所まで誘導できるよう駐車場内にカラーコーンを設置し、歩行者と実験車両の動線を分離
- 実験車両の方向転換、他の観光バスの出入りが想定されるため、交通誘導員を配置



-  : 交通誘導員
-  : 停留所係員
-  : 停留所看板
-  : 案内看板
-  : カラーコーン
-  : 実験車両動線
-  : 乗客動線
-  : 乗客立ち位置



設置項目	交通誘導員	停留所係員	停留所看板	案内看板	カラーコーン
数量	1名	1名	1台	2台	10個

れんがどおり

- ・アーケード内は安全確保のため、低速で走行
- ・一般車両の通行が可能な9～10時台に全幅が2.5mある実験車両が停車すると後続車が横をすり抜けて通行できない。安全性・円滑性ともに低下するため困難

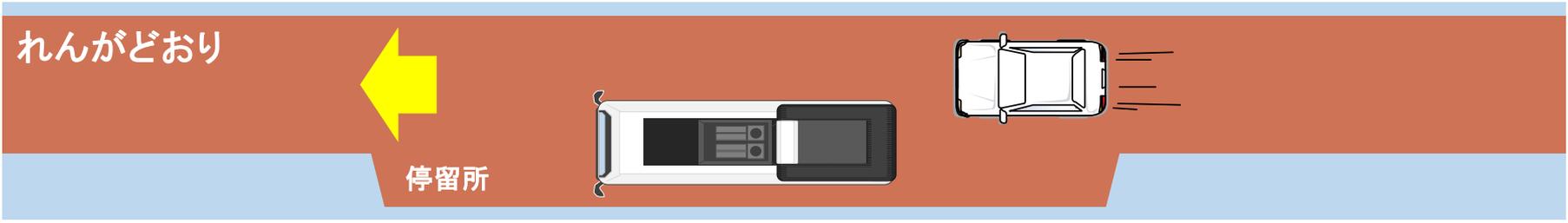


 : 停留所看板

れんがどおり

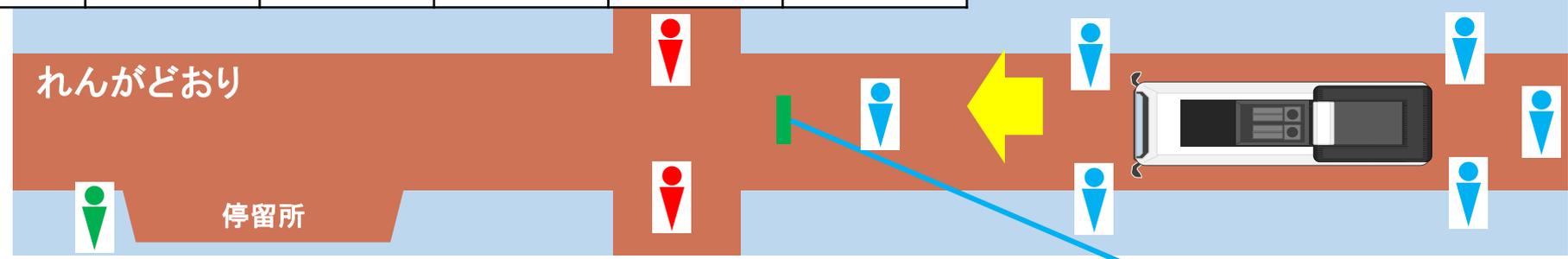
9時～10時台について

- 一般車両の通行が可能な9～10時台に全幅が2.5mある実験車両が停車すると後続車が横をすり抜けて通行できない。安全性・円滑性ともに低下するため困難
- 11時以降にれんが通りを通行する際には、実験車両前方に2名、車両左右前後に6名、停留所に1名の人員を配置



11時以降について

設置項目	交通誘導員	補助員	停留所係員	停留所看板	注意喚起看板
数量	2名	6名	1名	1台	4台



- 実験車両の前方に配置し、街路部から横断する車両や自転車、歩行者の安全を確認



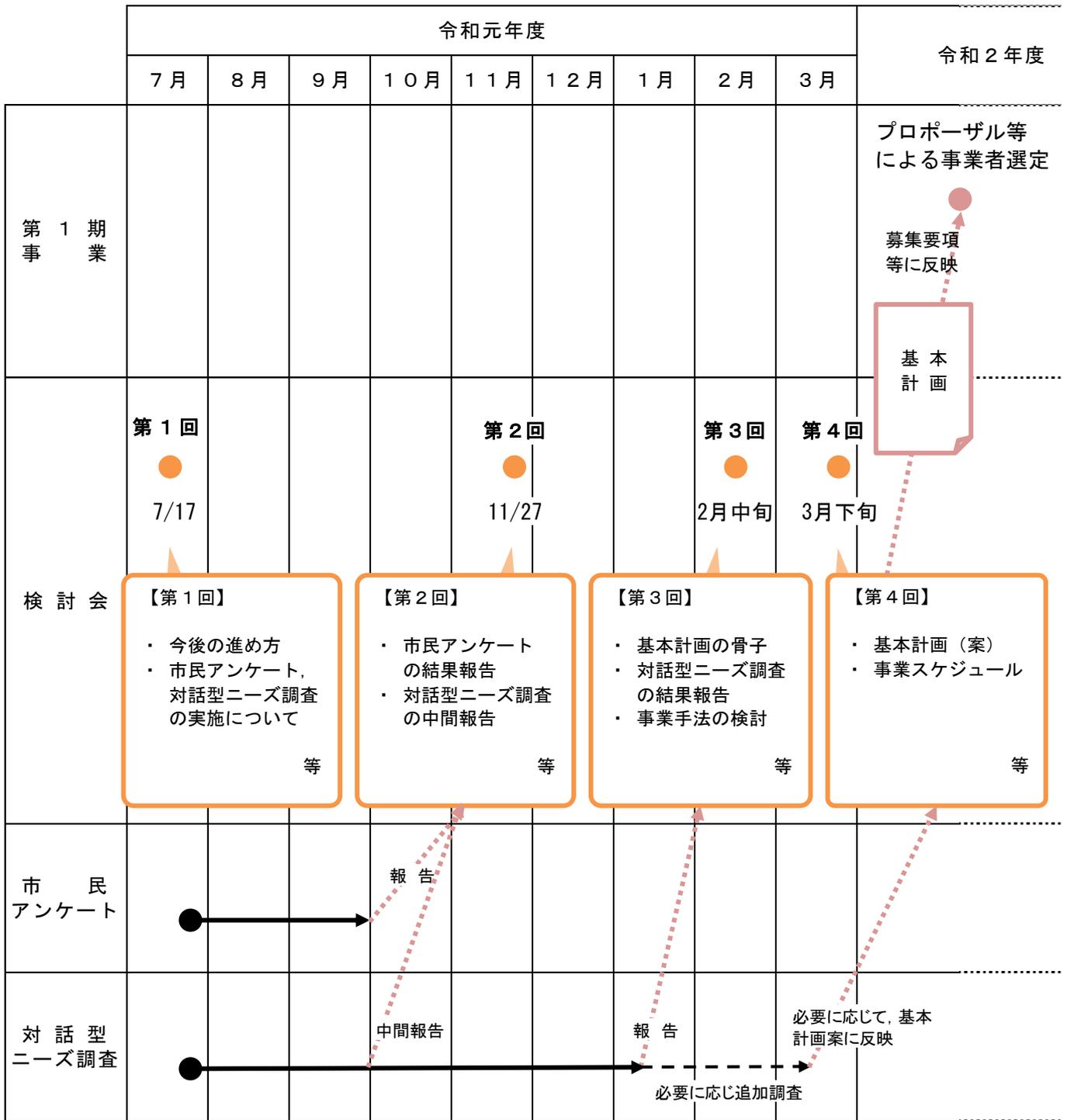
- 実験車両が通行できるように車両規制の看板を移動
- 実験車両の四隅に配置し、前後でトラロープを持ち自転車や歩行者の安全を確認
- 実験車両が通過後、車両規制の看板を元の位置へ移動



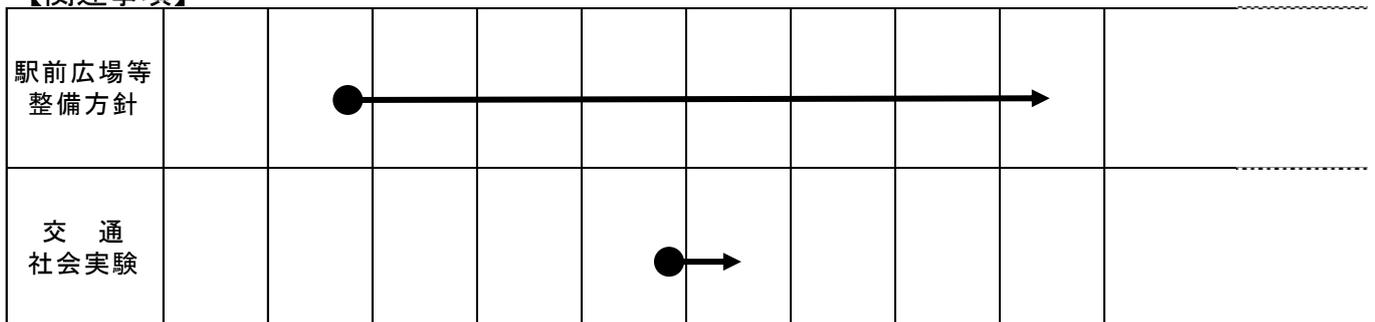
- 停留所周辺で乗客へ案内を行う



スケジュール等 (案)



【関連事項】



呉駅周辺地域総合開発に関する提言（概要版）

平成31年3月27日 呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会

呉駅周辺地域総合開発の基本的な方向性

提言① 呉駅は鉄道駅だけでなく、バスや港の総合交通拠点に そして、まちづくりの核に
呉駅周辺地域を、「鉄道の駅」から「鉄道、港、市内・広域都市間・次世代BRTのバスターミナルなどが集積する総合交通拠点駅」とすること。また、コンパクトシティの実現に向けたまちづくりの拠点とすること。

呉駅周辺地域総合開発において整備すべき施設・機能

提言② 呉駅周辺における一般車の送迎環境改善
駅前広場の改良により、一般車の進入と送迎が可能な、市民が利用しやすい交通広場を整備すること。

提言③ バリアフリーをフルに、市民が集う憩いの広場に
呉駅の南北を連絡するデッキを2階レベルで整備し、駅北側から呉中央棧橋ターミナルまで切れ目ないバリアフリーの歩行者空間を確保するとともに、市民や観光客が自然に集う憩いの広場空間を設けること。

提言④ 呉市の都心居住の受け皿に、中心街区の形成の核に
商業施設や住居施設、公共公益施設などの機能を集約し、バス利用者等の利便施設を兼ねた複合施設を整備すること。

提言⑤ 地域の防災拠点に
災害時の一時的な避難場所や災害支援の活動拠点として利用できる防災拠点機能を備えること。

呉駅周辺地域総合開発と連携した呉のまちづくりの推進

提言⑥ 交通まちづくりを軸としたスマートシティの実現
呉駅周辺地域と広島市・広島空港等を結ぶ都市間アクセスや、斜面市街地の移動手段等としての次世代モビリティ（次世代BRT、自動運転車両など）の導入など、交通まちづくりを軸としたスマートシティの実現を目指すこと。

提言⑦ アーバンデザインセンターの設置
市民の空間としての駅前空間をマネジメントしたり、自動運転を見据えた交通社会実験など新たな取り組みを推進する組織として、アーバンデザインセンターを設置すること。

呉駅周辺地域総合開発に伴い求められる重要な視点

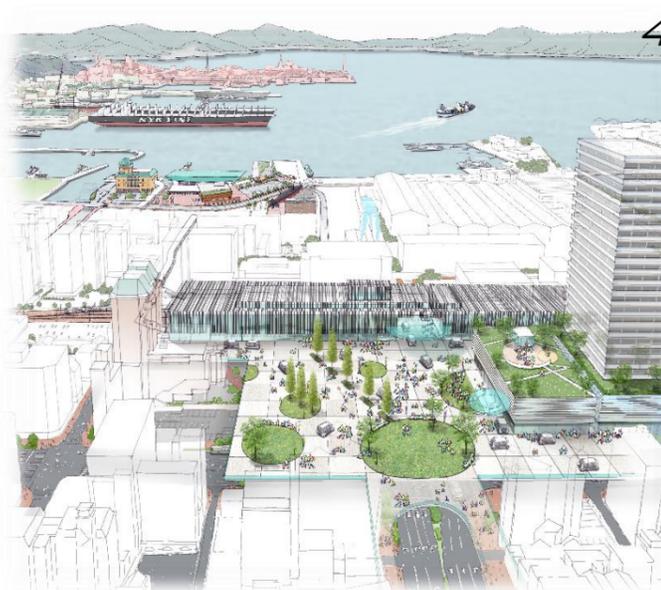
提言⑧ 既存市街地や市内観光拠点へのアクセス向上
総合交通ターミナル機能の強化、次世代モビリティの導入等により、市民・観光客が移動しやすい交通体系を構築する。

提言⑨ 広域連携（都市間連携）の強化
呉駅周辺地域のゲートウェイ（玄関口）機能を強化することにより、呉から広島・瀬戸内へとつながる回遊ルートを形成する。

提言⑩ 災害に強い安全・安心なまちづくりの拠点に
災害時には呉駅周辺地域が地域の防災拠点として機能するとともに、各地域へつながる災害時の交通ネットワークの拠点となる。

呉駅周辺地域の将来イメージ

平成31年3月27日開催
「駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するフォーラム」より

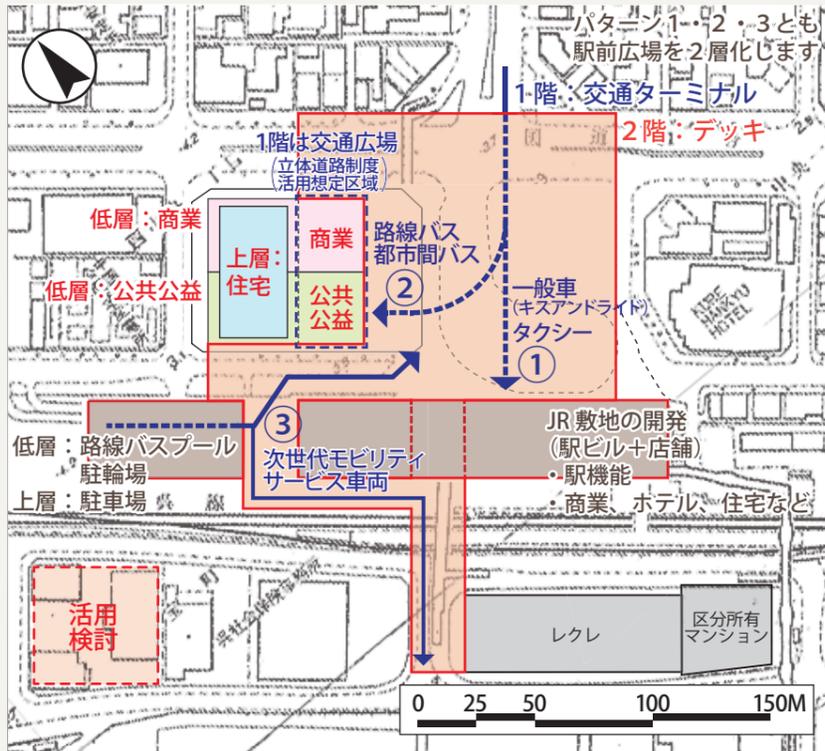


ゾーニングの検討

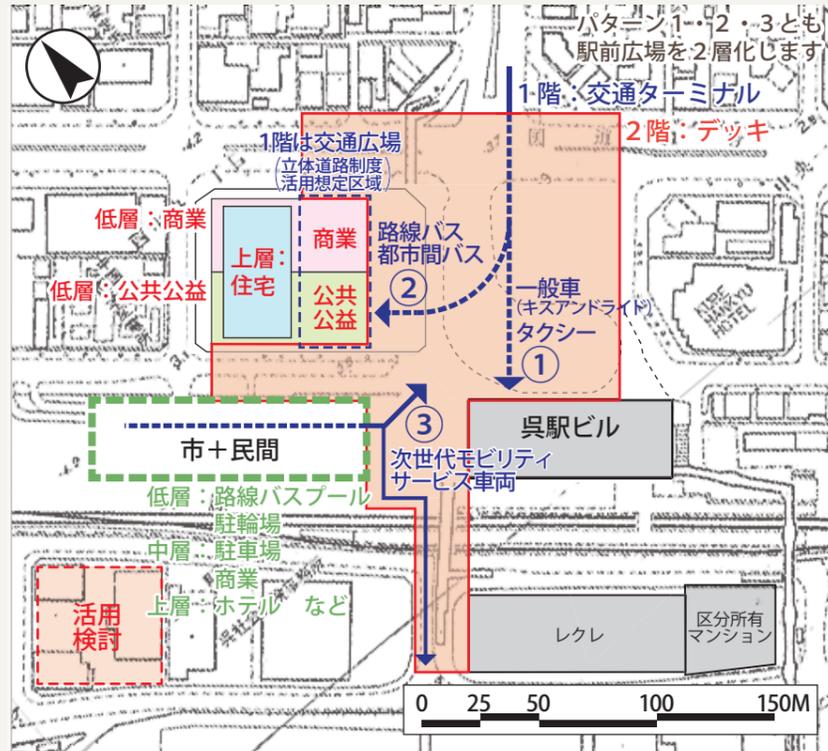
※縮尺は全て1:3,000 (A3)

2018.10.26 呉駅周辺地域総合開発 第2回懇談会資料

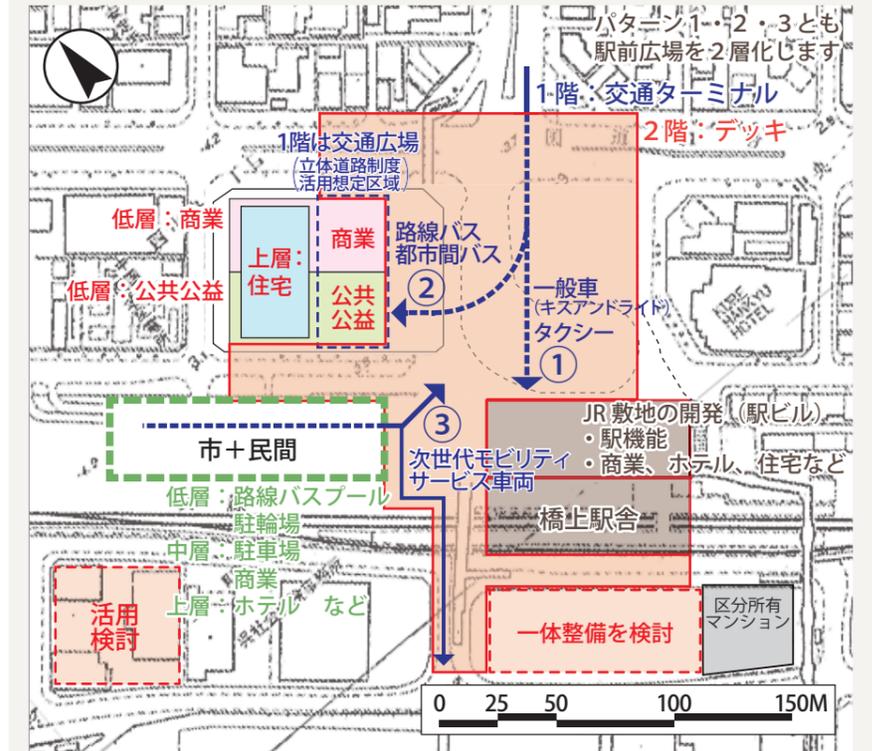
パターン1 呉駅ビルを大規模に再整備するパターン



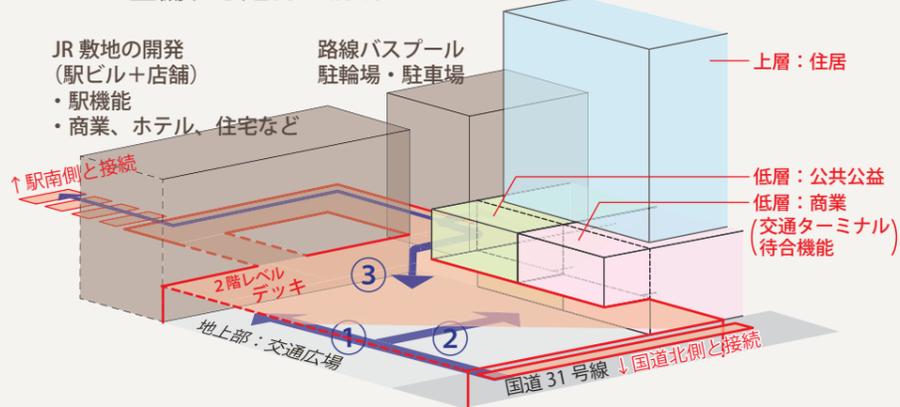
パターン2 既存の呉駅ビル機能を極力存置するパターン



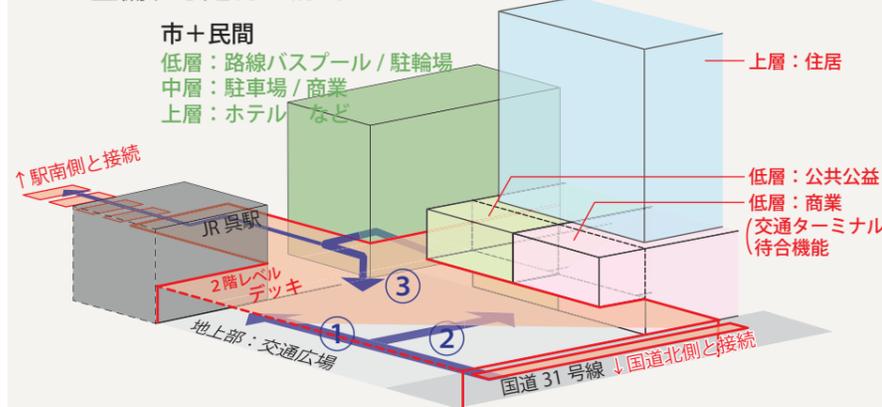
パターン3 呉駅の橋上化を実現するパターン



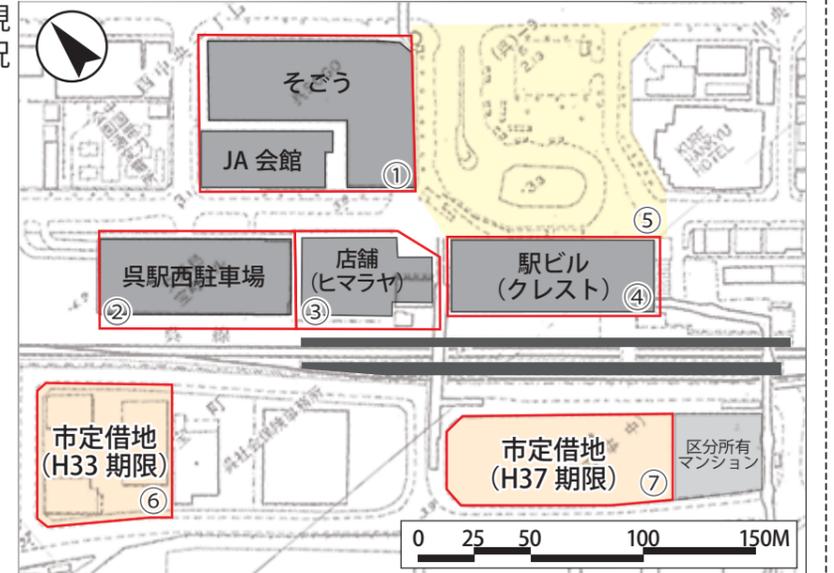
■整備する建物の構成イメージ



■整備する建物の構成イメージ



現況



- 敷地面積
- ①そごう跡地+JA 約7,400㎡
 - ②呉駅西駐車場(市営) 約4,200㎡
 - ③店舗(ヒマラヤ) 約3,400㎡
 - ④呉駅ビル(クレスト) 約4,500㎡
 - ⑤駅前広場 10,446㎡
(市7,146㎡: JR3,300㎡)
 - ⑥市定借地 約4,200㎡
 - ⑦市定借地(レクレ) 約4,400㎡

■各モビリティの発着場所 (上図内の○数字)

- | | | | | |
|--|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◀ JR 呉駅 ◀ 駅南側 | <ul style="list-style-type: none"> 2階 デッキ上 1階 デッキ下 交通広場 | <ul style="list-style-type: none"> ③ 次世代モビリティサービス車両 (例: e-Palette) タクシー (高齢者対応・ショットガン方式)、緊急車両 ① 一般車 (キスアンドライド) タクシー | <ul style="list-style-type: none"> ② 路線バス、都市間バス、大型モビリティ (例: SORA) | <p>デッキ上は、災害時は防災拠点、平常時は市民が自然に集まる広場</p> <p>次世代モビリティサービス車両は移動販売車としての運用も想定</p> <p>隣接する駐車場スロープを利用してデッキ上(2階)に乗り入れ</p> |
|--|---|---|--|---|

■各パターンに共通する特長や課題

- 特長**
- ・呉駅の前庭的広場となる象徴的なデッキ空間 (市民や来訪者が自然に集まるまったりとした広場)
 - ・駅南北をオープンにつなぎ地域間の回遊性を促進
 - ・民間開発との連動によるにぎわいの空間形成
 - ・一般車の進入を可能とする交通ターミナル拠点

- 課題**
- ・デッキ整備の負担区分および財源確保
 - ・市場ニーズを踏まえた導入機能と規模の設定、事業スキームの検討

市場ニーズ調査結果を踏まえた開発ゾーニング

第2回懇談会にて提示したゾーニング案をベースに、今回のニーズ調査を踏まえた開発規模とゾーニングを想定

■ニーズ調査結果を踏まえた開発規模の検討

ニーズ調査結果

- 住宅** 100～150戸/年間（地域内での分譲戸数）
- 商業** 約3,000～6,500㎡
- 宿泊** 客室100～150室（延床約3,500～5,000㎡）
- 業務** ニーズが見込まれる場合は整備を検討
- 公益** 図書館、交流施設など市民の集う施設の提案

ただし、市場ニーズは観光振興など各種施策やそれに基づく成果と連動するため、本開発計画と併行かつ連携した施策の検討が必要となる

I 期開発（想定）：そごう跡地+JA 敷地+呉駅前広場

- 延床面積
- 住宅** 約15,000㎡（約150戸分譲）
 - 商業** 約3,000㎡～6,500㎡
 - 宿泊** 例）そごう跡地には設定せず他敷地での開発
 - 業務** （設定なし）
 - 公益** 約3,000㎡ 図書館、文化交流施設など
- その他
- ・デッキの整備
 - ・バスターミナルの整備
 - ・呉駅西駐車場の改修など、各機能で必要となる駐車場の整備

II 期開発・周辺整備

- 住宅** （賃貸など他形態での開発や過年度での販売可能性）
 - 商業** 0㎡～約3,500㎡
 - 宿泊** 約3,500㎡～5,000㎡（宿泊特化型・客室100～150室）
 - 業務** ニーズが見込まれる場合は配置検討
 - 公益** ニーズが見込まれる場合は配置検討
- その他
- ・デッキの整備（駅南側への接続等）
 - ・各機能で必要となる駐車場の整備

※工期（I・II期）や開発の区域および用途・規模は開発のシミュレーションを目的に定めたものであり、継続して検討を行います

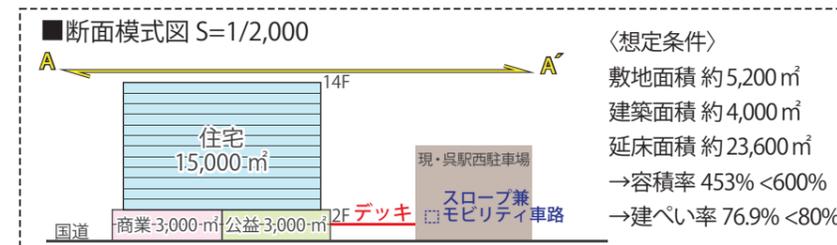
■開発ゾーニングと規模の検討

ゾーニングにおける検討事項

- ・呉駅前広場の必要面積（交通需要）
- ・立体道路制度の活用と対象とする区域
- ・デッキの取扱い（工作物 or 建築物）
- ・旧呉そごう跡地に建築する場合の敷地の設定（下図の①+②が基本だが、①+②+⑥のような構想が可能か）

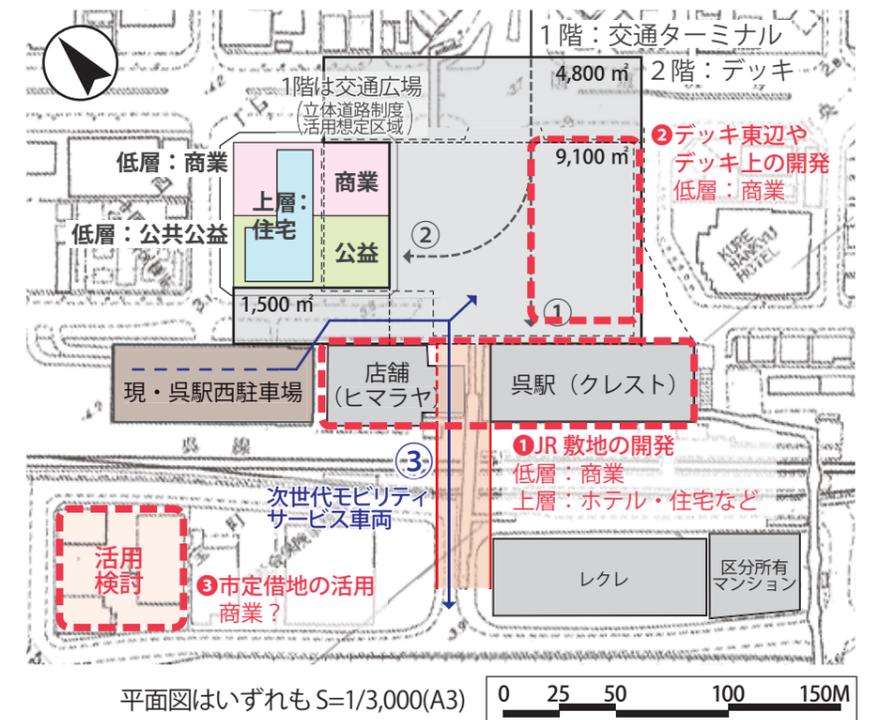
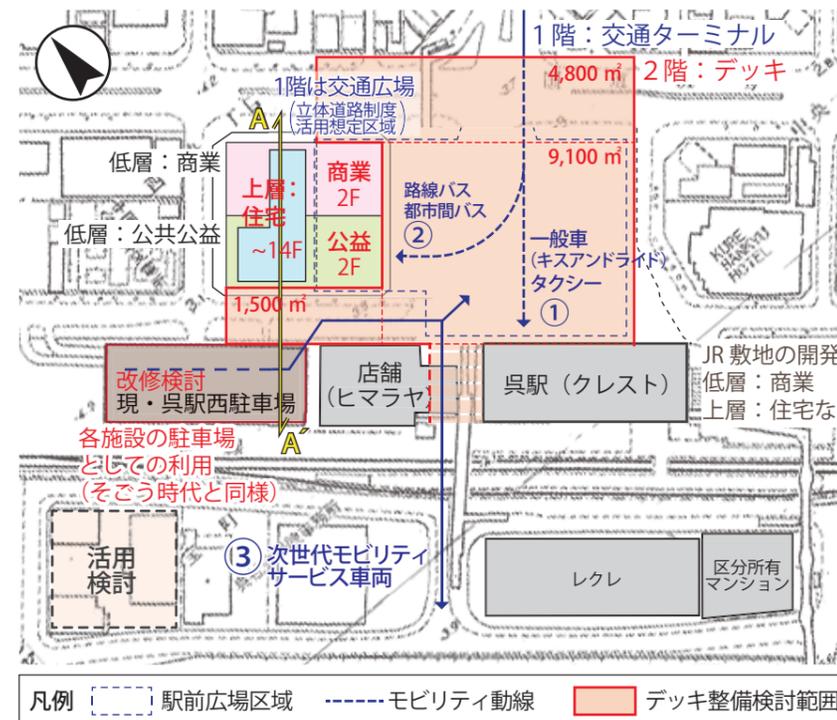
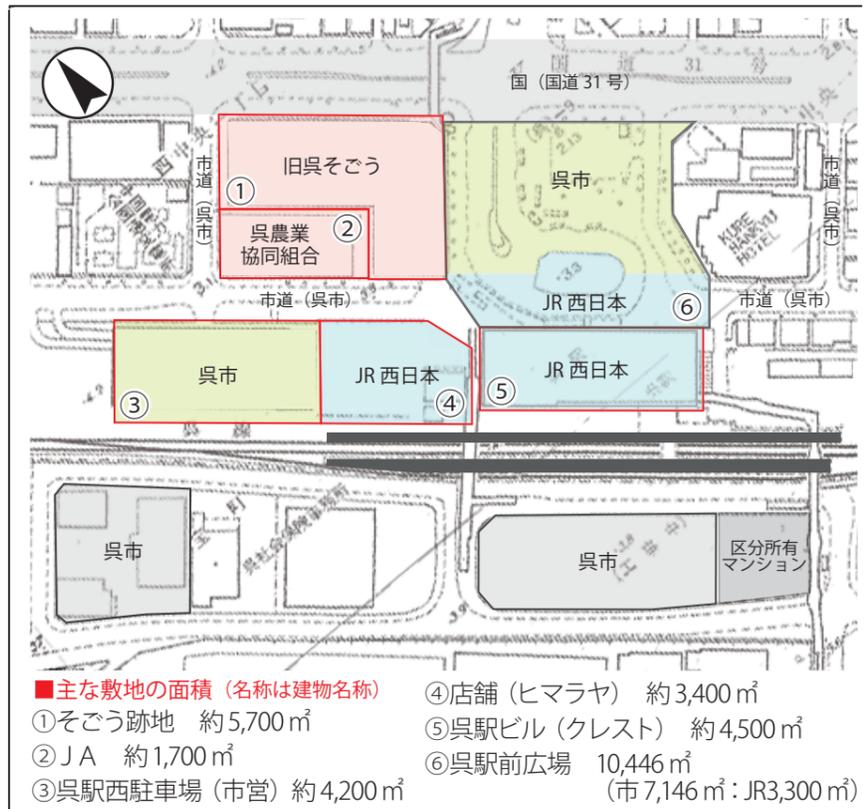
I 期開発区域

- ・旧そごう呉店の跡地+呉駅前広場区域での開発
- ・呉駅前広場の改修とデッキの整備
- ・呉駅西駐車場の改修 or 改築



II 期開発区域（候補）

- ① 呉駅ビルを含む JR 西日本敷地での開発検討
- ② デッキ上での商業店舗などの開発検討（デッキ東辺まで一体の建築敷地として設定可能か検討）
- ③ 駅南西側の市定借地の活用検討



※ゾーニングは JR 西日本等の関係者とは未調整です